

# 東京放射線

2014年11月号

Vol.61 No.722



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

報

告

第65回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会（抄）  
平成25年度特別功労賞・功労賞（勤続20年表彰）・小野賞受賞者  
平成25年度新人奨励賞 受賞報告 熊谷果南  
第74回公益社団法人日本診療放射線技師会定期総会報告  
第75回公益社団法人日本診療放射線技師会定期総会報告

お知らせ

第1地区研修会  
第3地区研修会  
第4地区研修会

会  
告

平成26年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管」  
第40回日暮里塾ワンコインセミナー  
城南支部研修会  
第13地区研修会（第39回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）  
第17回メディカルマネジメント研修会  
第38回日暮里塾ワンコインセミナー

巻  
頭  
言

診療放射線技師法の改正 葛西一隆

# 平成26年度 スローガン

一、チーム医療の推進  
二、地球環境と調和した医療技術の向上  
三、生涯教育・専門教育の推進

## 2014年 NOV CONTENTS

### 目次

巻頭言 診療放射線技師法の改正	副会長 葛西一隆	4
会告1 第38回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会	5
会告2 第17回メディカルマネジメント研修会	学術教育委員会	6
会告3 第13地区研修会（第39回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）	第13地区・学術教育委員会	7
会告4 城南支部研修会	城南支部委員会	8
会告5 平成26年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管」		9
会告6 第40回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会	10
会告7 第41回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会	11
お知らせ1 第1地区研修会	第1地区	12
お知らせ2 第3地区研修会	第3地区	13
お知らせ3 第4地区研修会	第4地区	14
お知らせ4 地球環境保全活動 クリーン日暮里21（日暮里駅前清掃活動）	第5地区	15
第65回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会（抄）		16
平成25年度特別功労賞・功労賞（勤続20年表彰）・小野賞受賞者		26
平成25年度新人奨励賞 受賞報告	熊谷果南	27
こえ		
・城東支部研修会に参加して	桐原 駿	31
・サマーセミナー印象記	鎌田 拓	32
・第13回城北支部研修会印象記	岡部博之	33
・第13回城北支部研修会に参加して	稲毛秀一	34
第74回公益社団法人日本診療放射線技師会定期総会報告	代議員 葛西一隆	35
第75回公益社団法人日本診療放射線技師会臨時総会報告	代議員 葛西一隆	36
NEWSひろい読み		37
バイブライン		
・第9回ワンバイツ講習会		39
・平成26年度第1回乳がん検診従事者講演会		40
・平成26年度第2回乳がん検診従事者講演会		42
・平成26年度マンモグラフィー研修会（読影入門編）		44
・日本消化器画像診断情報研究会（日消研）第7回セミナーin福島		46
・第37回消化器造影技術研修会		47
平成26年度第6回理事会報告		48
平成26年7・8月期会員動向		53

### Column & Information

・東放技は積極的に参加します	30
・求人情報	38
・イエローケーキ	52
・学術講演会・研修会等の開催予定	55

# 巻 頭 言



## 診療放射線技師法の改正

副会長 葛西一隆

先般、医療・介護制度改正の一括法案が成立し、平成26年6月25日に公布されました。法案では医療従事者の業務範囲及び業務体制の見直しの中に、診療放射線技師法も含まれています。

今回の改正は、診療放射線技師が病院又は診療所以外の場所で、多数の者の健康診断を一時に行う場合において、胸部X線検査（コンピュータ断層撮影装置を用いた検査を除く）その他の厚生労働省で定める検査のため、100万電子ボルト未満のエネルギーを有するX線を照射する場合は、医師又は歯科医師の立ち合いがなくても実施できることになりました。また、これまで法的に診療放射線技師の業務として明確になっていなかった核医学診断装置が法令に追加されました。つまり、技師法第24条第2項の（1）の装置として、磁気共鳴画像診断装置、超音波診断装置、眼底写真撮影装置（散瞳薬を投与した者の眼底を撮影するものを除く）に核医学診断装置を加え、計4項目となりました。また、技師法第24条第2項の（2）では、診療の補助として行える行為の中に、下記の省令で定められる3つの業務が加えられ、平成27年4月1日に施行される予定です。

### 1) 造影剤の血管内投与に関する業務

- ①CT検査、MRI検査等において医師又は看護師により確保された静脈路に造影剤を接続すること及び造影剤自動注入器を用いた造影剤投与を行うこと。
- ②造影剤投与終了後に静脈路の抜針及び止血を行うこと。

### 2) 下部消化管検査に関する業務

- ①下部消化管検査に際して、カテーテル挿入部である肛門を確認の上、カテーテルを挿入すること。
- ②肛門より挿入したカテーテルから、造影剤及び空気の注入を行うこと。

### 3) 画像誘導放射線治療（IGRT）に関する業務

- ①画像誘導放射線治療に際して、カテーテル挿入部である肛門を確認の上、カテーテルを挿入すること。
- ②肛門より挿入したカテーテルから、空気の吸引を行うこと。

このように、診療放射線技師の役割は益々幅広いものとなり、これを踏まえて教育と研修講習を行っていく必要と共に、義務として課せられることになりました。また大きな責任も課せられます。日本診療放射線技師会は医療における放射線業務に直接関わる職能団体として、黎明期にも法案整備に尽力してきた過去もあります。時代の流れに逆らうことなく、われわれ診療放射線技師の業務拡大の活動を継続すると同時に、その社会的役割をしっかりと果たしていきたいと考えます。



## 第38回 日暮里塾ワンコインセミナー

### テーマ「画像を見る目を養う～着眼点～」

#### ～関節痛（肩関節痛、股関節痛）～

講 師 春日部市立病院 工藤 年男 氏

着眼点シリーズの第2弾は関節痛です。その中でも整形領域で来院される関節痛で比較的多い、肩関節痛と股関節痛を取り上げます。これらを撮影する場合の着目点や疾患について学習し、臨床に強い技師育成を目指します。

多くの方の参加をお待ちしております。

#### プログラム

1. 19:00ー19:40 主訴（肩関節痛）のX-P 画像の着目点
2. 19:40ー20:20 主訴（股関節痛）のX-P 画像の着目点

#### 記

日 時：平成26年11月5日（水）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員500円、非会員3,000円（当日徴収）、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## 第17回 メディカルマネジメント研修会 テーマ「診療放射線技師の将来と人材教育」

講 師：京都大学医学部附属病院 放射線部

診療放射線技師長 東村 享治 氏

第17回メディカルマネジメント研修会は、京都大学医学部附属病院放射線部 診療放射線技師長の東村享治先生をお迎えし、診療放射線技師の将来像、人材教育についてご講演していただきます。多くの方の参加をお待ちしております。

### 記

日 時：平成26年11月14日（金）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

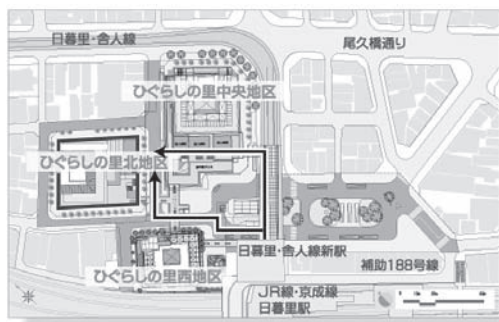
受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



## 第13地区研修会 第39回 日暮里塾ワンコインセミナー合同開催 テーマ「画像を見る目を養う～着眼点～」 ～腹部（腹痛）編～

講師：東京都済生会中央病院 江田 哲男 氏  
講師：公立福生病院 市川 重司 氏

- ・右脇腹痛の患者さんのX-P は、何を想定して撮影していますか？
- ・下腹部痛の女性の方には、何を考えて撮影し、画像を見ていますか？

腹部単純撮影は最も行われている撮影のひとつですが、撮影目的はさまざまな主訴の場合が考えられます。経験を積んだ技師は主訴から想定される疾患を考えながら、撮影・検査を行う習慣が身についており、その後のCTやMRIの検査などでも単純写真の所見が役立つことが多々あります。一方、経験の浅い方は漫然と撮影する傾向があります。

今回は主訴から考えられる疾患を踏まえ、画像の特徴や着眼点を学習し、臨床に強い技師を目標に掲げ企画をしました。多くの方の参加をお待ちしております。

### プログラム

1. 19:00－19:45 腹部（上腹部痛〈消化管関係〉）のX-P画像の着眼点
2. 19:45－20:30 腹部（下腹部痛〈婦人科、泌尿器科領域〉）のX-P画像の着眼点

### 記

日 時：平成26年11月18日（火）19時00分～20時30分  
場 所：三鷹産業プラザ 〒181-8525 三鷹市下連雀3-38-4  
ア ク セ ス：JR中央線・総武線 三鷹駅南口より徒歩約7分  
中央通り3つ目（三鷹産業プラザ東）の信号を右折

受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒新入会員ならびに学生 無料  
申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

## 城南支部研修会 テーマ「IVR装置の基礎」

近年、患者さんにとって低侵襲なIVRは、心臓や脳血管のみならず末梢血管へも適用が広がっております。同時に透視時間延長による被ばくが懸念され、装置の適切な管理が必要不可欠となっています。

今回の研修会では、日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構より講師をお招きし、IVR装置の基礎・管理について講演していただく予定です。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

なお、講演に先立ち東芝メディカルシステムズ株式会社様に、最近のIVR用X線装置の紹介をしていただく予定です。こちらぜひご参加ください。

なお、研修会出席者へIVR専門診療放射線技師認定機構より1単位が付与されます。

### —プログラム—

18:30 「最近のIVR用X線装置の特徴」

東芝メディカルシステムズ株式会社

小林 耕二 氏

19:00 「IVR用X線発生装置の基礎・管理」

日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構 監事

小田原循環器病院

宮崎 茂 氏

### 記

日 時：平成26年11月21日（金）18時30分～20時30分（受付開始18時10分～）

会 場：東邦大学医療センター大橋病院 教育棟 1F臨床講堂

交 通：東急田園都市線 池尻大橋駅下車 徒歩6分

：京王井の頭線 駒場東大前駅下車 徒歩10分

※詳細は東邦大学医療センター大橋病院HP

(<http://www.ohashi.med.toho-u.ac.jp/>) をご覧ください。

受 講 料：診療放射線技師1,000円

一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：shibu\_jyounan@tart.jpのアドレスへ氏名・地区・勤務先をお知らせください。もしくは東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ及び連絡先：

城南支部委員長 千葉利昭 E-Mail：shibu\_jyounan@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務局 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

## 平成26年度診療放射線技師基礎技術講習 「消化管撮影」開催のお知らせ

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

このたび平成26年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管撮影」を開催致します。

この基礎技術講習では公益社団法人日本診療放射線技師会が定めた学習目標に沿った講義を行います。診療放射線技師として、そして医療の担い手として必要な基礎知識と技術を身につけ、医療及び保健、福祉の向上に努めることを目的としております。

今回の開催は全国的に一定レベルのセミナーを普及・拡大させ、全ての診療放射線技師が受講できる環境を整えるように計画されたものであります。また学習目標の理解度の判定として全講義終了時に確認試験を実施します。多くの方の参加をお待ちしております。

### 記

日 時：平成26年11月30日(日) 8時55分～（受付開始8時30分～）

場 所：三鷹産業プラザ

〒181-8525 東京都三鷹市下連雀3-38-4

ア ク セ ス：JR三鷹駅南口 徒歩約7分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（ただし検定試験料1,000円を含む）

申 込 方 法：JART情報システム内のイベント申し込みメニューからお申し込みください

注）東放技事務局および東放技のHPからの申込はできません

受講料振込等：お申し込み後、日放技より振込み先等の案内があります

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません

ア）講習時間（6時間）に対し、欠課の合計時間が60分を超えた場合

イ）欠課が15分を越えたコマが1つでもあった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます

締 め 切 り：平成26年11月9日(日)

以上

### プログラム

限	時間	科目	講師名（所属）
	8:55～	開講式・オリエンテーション	
1	9:00～ 9:45	撮影技術－1 造影剤・鎮痙剤・下剤	北川 まゆみ（国立がん研究センター中央病院）
2	9:45～10:30	撮影技術－2 上部消化管	市川 重司（公立福生病院）
3	10:40～11:25	撮影技術－3 下部消化管	安藤 健一（東京勤労者医療会 東葛病院）
4	11:25～12:10	読影・レポーティング	田中 靖（東京山手メディカルセンター）
5	13:00～13:45	画質・性能評価	青木 聡（東海大学医学部付属八王子病院）
6	13:45～14:30	X線透視撮影装置の基礎知識	野中 孝志（公立福生病院）
7	14:40～15:25	被曝管理	圓城寺 純男（東京都保健医療公社多摩南部地域病院）
8	15:25～16:10	受診者管理（救急含む）	竹内 金枝（国家公務員共済連合会立川病院）
9	16:20～16:50	確認試験	
	16:50～	閉講式	



## 第40回 日暮里塾ワンコインセミナー テーマ「画像を見る目を養う～着眼点～」 ～麻痺 MRI偏～

講師：東京大学医学部附属病院 鈴木 雄一 氏

麻痺を主訴にMRI検査をする場合、脳梗塞を視野に入れて検査を行います。  
また麻痺している部位は、脳内の支配領域と密接な関係があります。  
経験を積んだ技師の場合は、麻痺部位から想定される頭蓋内の領域を推定し、撮影・検査を行う習慣があります。軽微な所見も主訴から判断して、凝視することで見えてくる場合もあります。  
今回は主訴「麻痺」から考えられる、MRI画像の特徴や着眼点を学習し臨床に強い技師を目標に掲げ企画をしました。  
多くの方の参加をお待ちしております。

### 記

日 時：平成26年12月2日(火) 19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員500円、非会員3,000円（当日徴収）、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## 第41回 日暮里塾ワンコインセミナー 「学術教育が選んだ発表演題」 ～入会促進セミナー～

今回のワンコインセミナーは、恒例となりました学術教育が選んだ発表演題です。平成26年度に本会会員から学会に発表された、演題の中から興味深いものを厳選し再度発表していただきます。

学会に参加できなかった方や参加していたが聞けなかったという方、また再度聞きたい方など、多くの方の参加お待ちしております。

さらに毎年この演題群の中から学術奨励賞、新人賞を選出しております。ぜひ参加していただき発表演題のアンケートにご協力をお願いいたします。

今回は入会促進セミナーということで受講料は無料となっております。

### — 発表演題 —

- ① DSA非搭載心臓カテーテル専用装置を使用した下肢動脈炭酸ガス造影法の検討  
河北総合病院 渡邊 真弓
- ② 頭部領域における3DT1WIシーケンスに関する基礎検討  
(マイクロTEシーケンスの磁化率アーチファクトについて)  
日本大学医学部附属板橋病院 磯川 浩治
- ③ 当院の接遇への取り組みについて  
ライフ・エクステンション付属永寿総合病院 松永 麻美
- ④ 胸部X線ポータブル撮影におけるクライテリアの構築  
公益財団法人日本心臓血管研究振興会附属榊原記念病院 比企 修一
- ⑤ 滅菌済X線プロテクショングローブの有用性  
国立がん研究センター中央病院 北川まゆみ
- ⑥ 全脊柱撮影における女性の生殖腺防護の検討  
昭和大学藤が丘病院 林 映里
- ⑦ 散乱補正が線条体解析ソフトの解析値に与える影響  
順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター 木村 聡
- ⑧ ブラキセラピーにおけるシード治療術後のCT撮影条件の検討  
日本大学医学部附属板橋病院 市川 篤志

### 記

日 時：平成26年12月9日(火) 18時30分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

問 い 合 わ せ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail: [gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX: 03-3806-7724

以上

# お知らせ

## I

## テーマ「上部消化管撮影の基礎」

講師：公益財団法人東京都予防医学協会 健康支援センター  
放射線部部長 佐藤 清二 氏

第1地区では「上部消化管撮影の基礎」をテーマに研修会を開催します。講師に東京都予防医学協会の佐藤清二氏をお迎えして、下記のとおり3回に分け、撮影の基本から読影の実際まで詳しく解説していただきます。

多くの方の参加をお待ちしております。

第1回 「基準撮影法について」 平成26年10月30日（木） 18:30～20:00（終了しました）

第2回 「読影に必要な基礎知識」 平成26年11月27日（木） 18:30～20:00

第3回 「所見用語と症例検討の実際」 平成27年 1月28日（水） 18:30～20:00

## 記

会 場：東京逋信病院 管理棟5階小講堂

アクセス：総武線飯田橋駅西口から徒歩約5分

東西線飯田橋駅A4出口から徒歩約9分

有楽町線飯田橋駅B2a出口から徒歩約6分

南北線飯田橋駅B2a出口から徒歩約6分

大江戸線飯田橋駅A4出口から徒歩約9分

受 講 料：診療放射線技師 500円

新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修  
会申込フォームからお申し込みください。

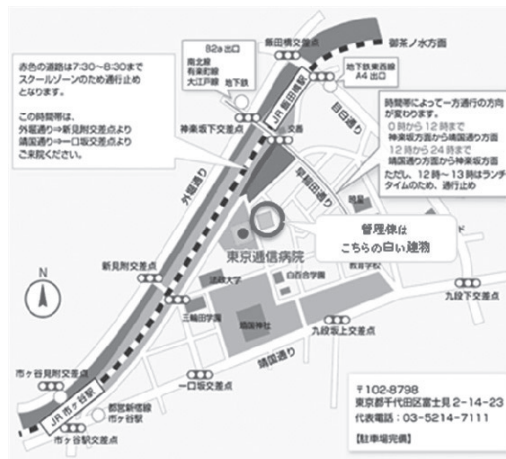
(申込フォームをご利用の際の主催は第1地区を選択してください)

または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

(※当日参加も可能です)

問い合わせ：第1地区委員長 齊藤謙一 E-Mail：area01@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

## 第3地区研修会

テーマ：「救急時における撮影－ここがポイント－」  
一般撮影、CT、Angio

講 師：「一般撮影」 国立国際医療センター 若松 和行 氏  
「CT撮影」 東京医科大学病院 平瀬 繁男 氏  
「Angio撮影」 東京医科大学病院 松本 亘 氏

今年は新しい試みとして、所属地区委員が皆さまに講義をしたいと思います。講演する診療放射線技師は三次救急病院で業務をおこなっており、夜勤業務や普段の撮影で気を付けていることや、最低限ここは知って欲しいと思われることをお話できたらと考えております。撮影法や症例などをお示しますので、皆さまと一緒に勉強をしたいと思います。  
皆さまの参加をお待ちしています。

### 記

日 時：平成26年11月28日（金）19時00分～20時30分（18時30分受付開始）

場 所：東京医科大学病院 研究教育棟4階 第2講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

ア ク セ ス：丸の内線西新宿駅1分 JR新宿駅西口より徒歩11分

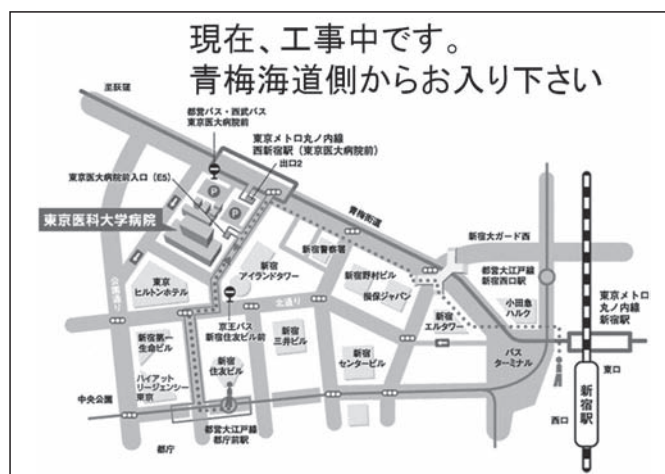
受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

情報交換会：会費4000円（参加希望者は予約の都合上、メールにてお知らせください）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。または直接下記メールアドレスまで、件名「第3地区研修会」で送信をお願いします。

問い合わせ：第3地区委員長 平瀬繁男 E-Mail：area03@tart.jp

以上





# お知らせ 3

## 第4地区研修会

### テーマ 「いまさら聞けない患者対応とマナー」

講師：東京慈恵会医科大学 法人事務局 主任 栗原 重雄 先生

皆さまは、患者さまへの対応についてどのようにお考えでしょうか？

われわれは医療人でありながら、接遇やマナーや患者さまへの対応等研修を受ける環境になかなか恵まれないのが現状ではないでしょうか？ 医療の現場は、患者さまとのコミュニケーションによって信頼関係が成り立っていると言っても過言ではありません。

この研修会は、日頃の接遇や患者対応、コミュニケーションを改めて考え、明日からすぐに使える実践的な研修会です。より安心して安全な医療を提供するために、役立てていただきたいと考えております。会員、非会員、ベテラン・新人技師に関わらず、多数のご参加お待ちしております。

#### 記

日 時：平成26年12月4日(木) 19時15分～（受付開始18時45分）

場 所：東京都済生会中央病院 新棟7階 第1会議室

参 加 費：診療放射線技師 500円

新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

一般の方 無料

申込方法：氏名・地区名・勤務先を記載の上、メールアドレス（area04@tart.jp）でお申し込みください。もしくは、東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込みフォームより、主催“4地区”を選択してお申し込みいただくか、会誌の研修会申込用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第4地区委員長 竹安直行 E-Mail：area04@tart.jp

以上



## 地球環境保全活動 クリーン日暮里21(日暮里駅前清掃活動)

### 第5地区

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第5地区では、環境をテーマにボランティア活動の一環として、富士山、富津海岸、日暮里駅前などの清掃活動を行ってまいりました。

今回は、当技師会事務所のある日暮里駅周辺の清掃活動を実施します。奮って参加くださいますようお願い申し上げます。

#### 記

日 時：平成26年12月20日(土)

作 業 時 間：10時00分～12時00分（予定）＊雨天等の場合中止

活動エリア：日暮里駅周辺

集 合 場 所：JR日暮里駅北口改札 東口駅前ロータリー集合

※現地集合になります。技師会スタッフジャンパーを目印にご参加ください。

参 加 費：無料

そ の 他：このイベントは荒川区環境課 荒川区青少年対策日暮里地区委員会が主催しており、町会・自治会・ボランティア団体・小学校・企業などが多数参加されています。

また、軍手・ごみ袋・トンゴは準備します。

申 込 方 法：参加希望の方は下記へお申し込みください。詳細な案内を連絡させていただきます。

問い合わせ：第5地区委員長 鈴木雄一 E-Mail:area05@tart.jp

以上

# 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第65回定期総会(抄)

開催日:平成26年6月22日(土) 会場:日暮里サニーホール

**石田理事:** 公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を開会致します。平成25年度 物故会員へ黙とうをささげたいと存じます。皆さまご起立お願い致します。黙とう。お直りください。ご着席ください。それでは初めに篠原健一会長よりご挨拶を申し上げます。

**篠原会長:** 皆さまこんにちは。技師会の篠原でございます。本日はたいへんお忙しいなか、また貴重な休日にもかかわらず多くの方にご参集いただきましてありがとうございます。またご来賓の方々にも貴重な休日にお集まりいただきまして、感謝を申し上げる次第でございます。本日は



第65回の定期総会、年に一回になりました定期総会は通常の決算、予算、事業報告、事業計画の他に定款改正、また役員の改選がございます。皆さまの貴重なご意見をいただく重要な総会となっております。どうぞ

よろしくお願い致します。平成26年通常国会が正式には今日までが会期ですが、事実上は一昨日国会が終わっております。そちらの国会の方でも憲法改正や憲法の解釈でいふん議論がされたようですが、われわれとしては本日定款改正があります。公益社団法人にとりましては定款が憲法といえるようなものであります。またわれわれの診療放射線技師にとりましては診療放射線技師法が憲法のようなものであります。本日も日本診療放射線技師会の中澤会長もお見えになっておりますが、昭和26年にできた診療放射線技師法も時代に合わせて変えるべきところは変えていくという行動をとっていかねばならないと思います。それにあたっては具体的に後ほどいくつかお話をさせていただく機会があると思います。本日はわれわれの会の発展のため、また国民の安心、安全な医療のための、診療放射線技師の教育なども含めた発展に対して皆さまには忌憚のないご意見をいただき、活発な議論の場とさせていただきたいと思います。本日はよろしくお願いを致します。

**石田理事:** 次にご来賓よりご祝詞を賜りたく存じます。公益社団法人日本診療放射線技師会会長中澤靖夫様よりご祝詞を賜りたく存じます。

**中澤日放技会長:** ただ今ご紹介にあずかりました日本診療放射線技師会の中澤でございます。本日は第65回東京都診療放射線技師会の定期総会の開催を心からお喜び申し上

げる次第でございます。

日放技の方からは三つのお話をさせていただきたいと思っております。一つ目は診療放射線技師の業務拡大についてです。私どもは平成23



年の1月から3月まで診療放射線技師の業務実態の調査を行い、それに基づきグレーゾーンに関する業務について厚生労働省のチーム医療推進会議で審議をしていただきました。そして平成23年から25年の3年をかけまして業務拡大について取りまとめていただき、先ほど篠原会長からお話ありましたけれども、この186通常国会の6月18日に医療介護の一括法案の中で成立可決しております。皆さまもご存じのようにエックス線CTあるいはMRIに関する検査におけますところの自動造影剤注入器を使った造影剤の投与、あるいは上部消化管、下部消化管、そして核医学関連の検査、そして放射線治療におけますところのIGRT(画像誘導放射線治療)、あるいは検診車における医師の立会い、特に胸部に関してのみでございますけれども法律が改正されました。これからはこれに基づいて47都道府県と連携しながら臨床におきますところの講習会を推進していきたいと思っております。

二つ目の話は、この業務拡大に伴いまして指定規則93単位を99単位に持っていこうということで、今現在厚生省の中で審議が進められております。第1回目の本会議の審議が4月16日にございまして、明日ワーキンググループの第1回目が厚生労働省で審議が進められる予定でございます。この様な関係でわれわれの業務拡大に伴って、養成機関におけますところの教育の内容も変わってくるということでございます。本部としましては47都道府県の技師会と連携しながら現在ございます専門学校、あるいは短期大学を訪問しまして現在の法律改正を説明し、できますことならば教育内容を4年制以上の大学にしていきたいと思いますという活動を進めていきたいと思っております。篠原会長と一緒に東京都内に関しては本年度中に巡って説明し、なんとか四年制にもっていききたいという活動を推進していく予定でございます。

三つ目の話は読影補助の推進でございます。平成22年の医政局局長通知0430通知がございましてけれども、これに伴い読影の補助推進、そして検査説明ということが推進し



なさいと言われておりますので、もっともっと推進していきたいと思っております。できますことならば皆さまの施設におきまして読影補助レポートを書いていただきたいと思います。私が所属する昭和大学でも必ず夜勤時、日直時のCT/MR検査におきましては読影の一次レポートを書いていただいております。またわれわれの関連する藤が丘病院では毎朝放射線科の医師と一緒に読影をし、夜間時の読影補助レポートを合図で確認しているという作業をやっております。大学病院では1週間に一回事例を選択し、金曜日の朝に読影補助レポートを主任教授から指導してもらうこともやっております。ぜひ皆さま方の施設におかれましても、読影の補助をどんどん進めていただいて医療安全のためにも診療放射線技師の読影補助が、医療の質の向上につながるようぜひこの活動も推進していただきたいと思っております。以上、三つのお話をさせていただきました。今後皆さま方とさらに国民の医療の推進のために、日本診療放射線技師会と47都道府県が連携して事業を進めていただきたいと思っておりますので、今後ともご支援とご協力をお願いしたいと思います。最後になりましたけれども東京都診療放射線技師会のますますの発展と、本日ご列席の皆さま方のご健康とご健勝をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

**石田理事：**中澤様ありがとうございました。続きまして公益社団法人日本放射線技術学会東京部会部会長江島光弘様よりご祝詞を賜りたく存じます。

**江島東京部会部会長：**ご紹介いただきました日本放射線技術学会東京部会の江島でございます。本日はお招きをいただきまして誠にありがとうございます。篠原会長をはじめ関係の皆さまに厚くお礼を申し上げます。東京部会会員を代表いたしまして一言ご挨拶を申し上げます。改めて東京都診療放射線技師会第65回定期総会の開催が、かくも盛大にとりおこなわれますことを心よりお喜びを申し上げます。

私ども東京部会の事業運営に関しましては、東京都診療放射線技師会の皆さま方には平素よりご指導、ご支援を賜っておりますこと、この場をお借りしまして厚くご礼を申し上げます。今年度5月17日土曜日に駒澤大学の会場をお借りして行われました、東京部会の第68回の春期学術大会におきましても篠原会長のご列席をいただくと共に、たくさんの方々にご参加いただきまして盛会裏に終了することができました。ここに改めて御礼申し上げます。

現在、東京部会は「学術事業の充実」をテーマに事業運営をさせていただいております。その事業につきましては東京部会が公益社団法人として医療の中で何を求められているのか、そしてまた何が出来るのかを明らかにして、その対応のために必要な知識や技術について現在と将来を見据えて、会員の皆さまに、より正確に提示していきたいと

考えています。

そしてまた、それらの情報をより多くの会員の方々と共に共有させていただくための努力をさせていただいております。先ほどお話がありましたように、厚生労働省からの通達がありましたチーム医療の推進に関しましても診療放射線技師の役割が幅広く認められてまいりました。医療安全を担保しつつその役割を十分に果たしていけるように、必要な放射線技術の確立を進めてまいりたいと存じます。どうぞ今後ともご支援いただきますようよろしくお願いを致します。

少し私どもの学術大会のご案内をさせていただきたいと思えます。平成26年度の第42回秋季学術大会は札幌コンベンションセンターで、北海道大学病院の小笠原大会長そして札幌医科大学附属病院の高島実行委員長のもと10月9日～11日に開催されます。この大会には第39回秋季の神戸で行われました大会と同様に、国際放射線技術科学会議を同時に開催し、海外からの発表なども含めた企画となっておりますのでぜひご参加をいただきたいと思えます。それから身近なところでは、もう3年ぶりになりますけれども東京部会も秋季学術大会を行います。この大会にはご列席されております東京通信病院の齊藤大会長、そして東京大学の井野実行委員長のもと駒澤大学で11月8日土曜日の1日でございますけれども開催する運びとなっております。この大会の演題募集につきましては7月末日が、締め切りとなっておりますので、ぜひ多くの方に応募いただいてご参加をいただければと思います。

今後ともいろいろな面で、東京都診療放射線技師会と東京部会の活躍すべき場所も更に増えてきて、両会がますます元気で在ることが求められていると思っております。どうぞ私どもの事業運営にもご指導ご支援をくださいますようお願いを致します。

最後になりますけれども東京都診療放射線技師会が公益社団法人として、ますますご発展をされますように、またご列席の皆さま方がご健康で更にご活躍をされますように心よりご祈念申し上げまして、はなはだ簡単ですがご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



**石田理事：**江島様ありがとうございました。本日はほかにも医療関連職能団体の皆さまをお迎えいたしております。ご紹介させていただきます。公益社団法人東京都看護協会常務理事 瀬下律子様、瀬下様ありがとうございました。次に総会議事に先立ち表彰をとり行ないます。平成25年度における小野賞、永年勤続表彰、学術奨励賞、特別功労賞の表彰及び感謝状の贈呈をとり行ないます。それでは担当の市川理事お願い致します。



**市川理事**：学術教育委員会の市川です。よろしくお願い致します。それでは平成25年の表彰に移りたいと思います。特別功労賞、表彰規定第2条2項により特別功労賞の表彰を行います。表彰者は本会監事の佐藤清栄さんです。佐藤さんは外部監事といたして平成17年から26年まで9年の長きにわたり務めあげていただき、本会財務の監査を専門的立場から行い、また決定された事項が計画通りに進められているかのチェックを行うとともに、助言をいただき東京都診療放射線技師会の適正な事業遂行と発展に多大な貢献をされました。その功績をたたえ理事会の決定により表彰を致します。



特別功労賞 佐藤氏

**篠原会長**：表彰状 特別功労賞、佐藤清栄殿。あなたは多年にわたり本会事業の普及、推進に寄与された功績はまことに顕著であります。ここに第65回定期総会においてその功労をたたえ記念品を贈り表彰致します。平成26年6月22日公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。先生どうも長い間ありがとうございました。

**市川理事**：続きまして小野賞の表彰に移ります。表彰規定第2条第4項により小野賞の受賞の方々をご紹介致します。小野賞は多年にわたり技師会地区活動並びに地域医療に、貢献された方々を対象に各地域からの推薦により贈られます。それでは本年度の小野賞9名の皆さまをご紹介致します。お名前を呼ばれた方はその場で結構ですのでお立ちになってください。第1地区 真田昭博様、第4地区 石丸幸喜様、第5地区 關 良充様、第6地区 柳原淑幸様、第10地区 木暮陽介様、第11地区 仲野誠一様、第11地区 矢作



小野賞 木暮氏

真一様、第14地区 高林正人様、第16地区 中谷儀一郎様、それでは9名の方を代表いたしまして木暮陽介様は壇上の方をお願い致します。

**篠原会長**：表彰状 小野賞、第10地区 木暮陽介様。あ

なたは多年にわたり地区活動並びに地域医療に貢献された功績は、まことに顕著でありその功績は小野賞に値します。ここに第65回定期総会において表彰致します。平成26年6月22日公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。おめでとうございます。

**市川理事**：おめでとうございます。ご着席してください。続きまして勤続20年表彰に移ります。こちらの方でお名前を読み上げますが26名の方おりますので、ご起立などは省略させていただきますでよろしくお願い致します。勤続20周年、小原伸元さん、佐藤 稔さん、草苺正典さん、布川嘉信さん、馬場将光様、高橋潤一郎様、野口景司様、稲葉玲子様、伊達崎勝教様、関のりこ様、蓑田裕隆様、室則子様、木村 聡様、高瀬 誠様、野口幸作様、佐藤友加里様、渡辺 誠様、大津元春様、木暮陽介様、榮健一郎様、黒田奈美子様、福田武俊様、高林正人様、黒澤和彦様、原子 満様、福尾和史様、以上26名です。代表いたしまして黒田奈美子様、壇上の方へよろしくお願い致します。



功労賞 黒田氏

**篠原会長**：表彰状、黒田奈美子殿。あなたは20年以上にわたり診療放射線業務に精励され技師会に貢献された功績はまことに顕著であります。ここに第65回定期総会において表彰致します。平成26年6月22日公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。おめでとうございます。

**市川理事**：続きまして新人奨励賞、学術奨励賞の表彰に移ります。学術奨励賞、新人奨励賞は昨年度において東京都の会員から発表がされました、全国診療放射線技師総合学術大会エントリーの45演題と、神奈川県で開催されました関東甲信越診療放射線技師学術大会の9演題の計54演題の中から選出されました。まず新人奨励賞の方から表彰したいと思います。演題名「透視撮影装置使用時の術者被ばくの低減の1考察」。発表者 熊谷果南さん、施設名 公立福生病院。受賞理由は、透視装置の被ばく低減の検討報告は数多くありますが、今回報告された自動可動絞りをを用いた検討は簡便な方法で大きな低減効果が期待できます。医療監視などでも医療従事者の長時間にわたる透視検査の管理も指導される中、本研究結果は他施設でも広く応用することができ汎用性に優れた研究と思われます。今後さらなる研究報告を期待しまして新人奨励賞を贈りたいと思います。それでは熊谷果南さん壇上の方へお願いします。

**篠原会長：**賞状 新人奨励賞、公立福生病院 熊谷果南殿。平成25年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の透視装置使用時の術者の被ばく低減の1考察は極めて優秀と認められました。よって第65回総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成26年6月22日公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。おめでとうございます。

**市川理事：**新人奨励賞もうひとりおります。発表致します。演題名「マンモグラフィ検査における業務支援、指導に関する意識調査」。発表者 龍尾香朱美さん、施設名 JR東京総合病院。受賞理由といたしましてマンモグラフィ検査における撮影技術は個人差が大きく、読影結果にも影響するため、装置、撮影、待遇などが高いレベルで管理、維持が必要とされております。そのような背景を踏まえ、外部指導を受けることで業務改善につながる1手法としての検討は有効性を示唆する結果となり、大変興味深い研究と思われます。検討内容も細部に検討されておりまして新人賞に値する研究と判断いたしました。それでは龍尾さん壇上の方へお願い致します。

**篠原会長：**賞状 新人奨励賞、JR東京総合病院 龍尾香朱美殿。平成25年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿のマンモグラフィ検査における事業支援、指導に関する意識調査は極めて優秀と認められました。よって第65回総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成26年6月22日公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。おめでとうございます。



学術新人賞 熊谷氏



学術新人賞 龍尾氏

**市川理事：**新人奨励賞は入会後5年未満の会員が有資格となっております。各施設そしてこの会場にも有資格の方いらっしゃいます。学術教育委員会としましては優秀な研究報告を期待しておりますのでよろしくお願い致します。

ます。それでは学術奨励賞に移りたいと思います。平成25年度学術奨励賞。演題名「乳房温存手術後の放射線治療における皮膚線量について、ガウン着用は放射線皮膚炎を増悪させるか」。発表者 松下淳一さん、施設名 日本大学医学部付属板橋病院です。受賞理由であります、放射線治療を受ける患者さんは身体的そして肉体的にもストレスを抱えております。そのような中、治療時のガウン着用は精神的負担を軽減する一方、放射線皮膚炎のリスクが懸念され一般的には着用しない傾向にあります。本研究はガウン着用による放射線皮膚炎のリスクをテーマに掲げ大変興味深い研究と思われました。各施設がガウン着用を取り入れることで患者への環境改善につながる可能性を秘めており、貴重な研究であり、学術奨励賞に値する発表であったと思います。今後もさらなる研究成果を期待しております。それでは松下淳一さん、壇上の方へお願いします。



学術奨励賞 松下氏

**篠原会長：**賞状 学術奨励賞。日本大学医学部付属板橋病院 松下淳一殿。平成25年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の乳房温存手術後の放射線治療における皮膚線量について。ガウン着用は放射線皮膚炎を増悪させるかは極めて優秀と認められました。よって第65回総会において学術奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成26年6月22日公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。おめでとうございます。

**市川理事：**研究テーマというのはわれわれの日々の積み重ねと考えております。放射線学医療学進歩のために今後も若い方々の尽力を期待したいと思っております。表彰は以上です。



市川理事

**石田理事：**受賞者の皆さまおめでとうございます。なお受賞者の皆さまは記念撮影を本会場にて行いますので、総会終了後はご着席のまましばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。総会議事に移ります前にご来賓の方々がご退席致します。ご来賓の皆さま方にはご多忙にもかかわらずご出席を賜り誠にありがとうございます。貴会皆さま方のますますのご発展を祈念申し上げます。皆さま拍手でお送り願います。



それでは本総会の資格審査委員ならびに総会運営委員を紹介致します。資格審査委員ならびに総会運営委員は、総会運営規定により各地区から選出されております。資格審査委員として阿蘇敏樹さん、大澤亨さん、中田健太さん、鈴木勝さん、黒田奈美子さん、細川直志さん、市川篤志さん、若松和行さん、中嶋孝義さん、仲野誠一さん、以上10名、資格審査委員長は市川篤志さんです。次に総会運営委員として高林正人さん、芦田哲也さん、黒田誠さん、渡邊真弓さん、松田敏治さん、以上5名、総会運営委員長は黒田 誠さんです。それでは資格審査委員会報告を市川篤志委員長よりお願い致します。

**市川資格審査委員長：**それでは資格審査委員よりご報告申し上げます。平成26年6月5日理事会承認時の正会員の数は1,899名です。総会成立会員数は本会定款17条第1項の規定による出席が必要です。950名以上になります。現時点での会員出席状況を説明致します。総会出席者数184名、書面表決数776名、委任状458名、合計1,418名です。従いまして第65回総会は成立することを報告致します。また第5号議案、定款の変更を伴うために定款17条第2項の規定により3分の2以上の出席者1,267名を超えていることを追加報告致します。資格審査委員長市川篤志です。

**石田理事：**それでは本総会の議長団を選出したいと存じます。会場より立候補の方いらっしゃいますか。立候補がございましたので壇上へお願いします。

**藤井議長：**第7地区の藤井雅代です。よろしく願い致します。

**布施議長：**第4地区の布施章です。よろしく願いします。これより審議してまいります。第1号議案平成25年度事業報告案、第2号議案平成25年度決算報告案を私、布施が、第3号議案平成26年度事業計画案、第4号議案平成26年度予算書案、第5号議案定款改正案および役員の報酬に関する規定の提案を藤井議長が担当致します。みなさまのご協力をいただき議事を進めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。はじめに議事に入ります前に総会職員の任命についてお諮り致します。総会職員については総会準備委員名簿がすでに総会資料に掲載されておりますが、この場で改めて議長団より指名し皆さまの拍手をもって承認を得たいと存じます。異議はございませんでしょうか。ありがとうございます。異議がないようですので



布施議長・藤井議長

で指名させていただきます。はじめに書記、写真、記録係として内藤哲也さん、岩井謙憲さん、森 美加さん、中谷麗さん、平田充弘さん、柴山豊喜さん、高橋克行さん、以上7名の方々です。続いて会場係として高野修彰さん、松田紗代子さん、浅沼芳明さん、以上3名の方々です。次に採決係として、岡部圭吾さん、高瀬 正さん、長谷川雅一さん、雨宮広明さん、河内康志さん、吉井伸之さん、以上6名の方々です。最後に本日の議事録署名人は議長の布施、藤井および全出席の理事となります。それでは以上総会職員について皆さま拍手をもってご承認願います。ありがとうございました。次に総会の運営について総会運営委員会報告を黒田 誠委員長よりお願い致します。

**黒田総会運営委員長：**総会運営委員会よりご報告申し上げます。只今の時刻は15:56です。これより第1号議案平成25年度事業報告案、第2号議案平成25年度決算報告案、第3号議案平成26年度事業計画案、第4号議案平成26年度予算案、第5号議案定款改正案及び役員の報酬に関する規定



黒田総会運営委員長

案、以上第1号議案から第5号議案までを16:45までにご審議願います。会員の皆さまの活発なご意見とご協力をお願い致します。総会運営委員長 黒田 誠。

**布施議長：**黒田委員長ありがとうございました。只今の報告につきまして異議はございませんでしょうか。異議が無いようですので報告の通り議事を進めさせていただきます。続きまして採決についてお諮り致します。議案ごとに審議し、行いたいと存じます。なお採決の方法は反対、保留、賛成の順で挙手をもって行いたいと存じますが異議はございませんでしょうか。ありがとうございます。異議が無いようですので議事に入ります。まず第1号議案平成25年度事業報告を議題と致します。それでは執行部より報告願います。

**篠原会長：**それでは第1号議案平成25年度事業報告案を説明させていただきますが、会誌5月号の15ページに掲載されております。総括についてですが上の段1/3くらいから下の部分で、「診療放射線技師による造影後の抜針、止血・・・」というところから始まって「・・・業務範囲の拡大事項も併せ1日も早い改正を望む」というと書かせていただいております。これは4月事業、3月に事業年度が終わって4月にこの事業総括を書いております。先ほど中澤日本診療放射線技師会会長から報告があったとおり、これらは6月18日に国会を通過しておりますので、ここに書いてあるような一部の法改正、また業務範囲の拡大につきましては、近々に官報や政局通知という形で出されると思いますので、この部分は多少過去形として読んでいただければと思います。その他、事業計画は監事の審査においても適正に推移

したという評価をいただいておりますけれども、皆さまの目から見て新たな視点でご指摘があれば、ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと思います。具体的な事業報告などにつきましては会誌の16ページ以降に詳細が載っております。事前に会誌をご覧になっていただいていると思いますので、どうぞご審議よろしくお願い致します。以上です。

**布施議長：**篠原会長ありがとうございます。これより質疑に入ります。恐れ入りますが発言者の方は挙手にて指名をうけたのち、スタンドマイクまでお願い致します。また所属地区と氏名を述べてから発言をお願い致します。質問に対しては執行部から回答を致します。どなたか質問のある方ございませんでしょうか。無いようですので質疑を終りまして本件について採決を行います。採決係の皆さま準備願います。採決は先ほど言ったように挙手にてお願い致します。まず反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数によって平成25年度事業報告は原案の通り承認されました。それでは第2号議案の平成25年度決算報告を議題と致します。執行部より報告願います。

**関理事：**経理を担当しております関と申します。どうぞよろしくお願いいたします。これより平成25年度の決算報告をさせていただきます。会誌は5月号の36ページから44ページが第2号議案の決算報告となっております。まず36ページの貸借対照表よりご説明致します。これは法人の3月31日現在の財産状況を示しており、資産合計と負債および正味財産との合計とが一致しております。事前に資料を配布しておりますので特徴的なものについて説明し、金額については端数の読み上げを省略させていただきます。流動資産の現金預金でありますが当年度は前年度に比べ346万円ほど増加しております。これは役員の皆さま方が節約志向で事業を推進したためと思われます。次に固定資産の特定資産に計上している建物と土地ですが、建物部分については前年度より67万円ほど減少しています。これは事務所の取得金額から経年的に減価償却されたものです。次に負債の部になります。まず前受け会費は3月中に入金されたもので収益ではなく負債として計上しています。通常は4月以降に請求しているため前もって入金された会費はわずかとなっております。長期借入金是新事務所取得のためのもので返済により222万円の減少となっております。以上により当年度末の資産、つまり負債および正味財産の合計は8,413万円となっております。次に37・38ページに正味財産増減計算書を示しております。またその内訳表を39・40ページに示しています。内訳表の右側に参考のために予算との差異、A-Bを掲載いたしました。以下主に内訳表で予算と差異がある個所について説明させていただきます。受け取り会費は正会員と賛助会員を合わせますと142万円の増収となっております。昨年度は140万円ほど減少していましたが過年度分の会費が多く入金されているものと思われ

ます。次に研修会事業収益は大勢の会員の皆さまのご参加の協力もあり、予算費で51万円の増収となりました。親睦会事業収益は新春の集いになりますがこれは参加人数に影響を受けております。次に経常費用に移ります。事業費と管理費とに大きく分かれています。事業費は技師会の事業活動を推進するために使うもので、管理費は事務所運営や法人全般の管理に使う費用となっております。予算との対比で分かる通り全体的には節約志向で活動しており減少しているところが多く見られます。事業費から特徴のあるところを説明致します。多く支出しているところは光熱費や諸謝金ですが、研修会事業を多く開催したためでもあり、収入も増加しているためバランスは取れているかと思われます。広報関連費はロゴマーク募集や、スタッフジャンパーの作成、行政祭りの参加など公益事業を多く推進したために多くなりました。そせい効果はTARTの商標登録をしたためでこれは継続性がなく単年度限りのものであります。管理費についても同様となっております。以上のような内容により最終的に経常収益は2,656万円、経常費用が2,183万円となり当期の計上増減額は472万円となります。ただしこの472万円には会計基準の変更により計上している減価償却分が含まれています。減価償却費は計上されていますが、購入した時点で費用を支払っているため実際には現金預金の流出を伴わない費用です。また当期の一時的な費用として先ほどの登録商標やスタッフジャンパーの費用が含まれているため、実態としては事業の損益はかなり節約となっております。以上で決算報告と致します。ご審議よろしくお願いいたします。

**布施議長：**関理事報告ありがとうございます。それでは続きまして平成25年度監査報告を監事の方からお願い致します。



乙井監事・佐藤監事

**乙井監事・佐藤監事：**それでは平成25年度監査報告をさせていただきます。定款23条に基づき平成26年4月21日曜日東京都荒川区西日暮里2-22-1ステーションプラザタワー505号、公益社団法人東京都診療放射線技師会事務所において平成25年4月1日から平成26年3月1日までの業務および会計の監査を、平成25年の公益社団法人東京都診療放射線技師会会長、副会長、総務委員長、経理委員長、庶務委員長、ならびに公認会計士立会いのもと行った結果を報告致します。



1、監査の方法、(1) 事業、会長、副会長、総務委員長、庶務委員長らの説明により事業計画に基づいた事業の報告と関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きに則り、業務執行の妥当性を検討した。(2) 会計、会長、副会長、経理委員長説明により帳簿並びに関係書類など閲覧し監査手続きに則り会計簿と記載金額とが一致し、法人の収支状況および財産状況を詳細に監査した。

2監査の結果、(1) 事業、平成25年度事業計画に基づき事業並びに会務の運営は順調に推進したことを認める。(2) 会計、帳簿並びに関係書類などを閲覧し会計簿と記載金額とは一致し法人の収支状況および財産状況を正しく示していると認める。平成26年4月21日監事乙井不二夫、監事佐藤清榮。以上です。

**布施議長：**佐藤監事、乙井監事報告ありがとうございます。これより質疑に入ります。ただいま報告がありました決算報告で質疑がありましたらよろしくお願い致します。どうでしょうか。無いようですので質疑を終ります。本件について採決をこれから行います。採決係の皆さま準備願います。それでは挙手をお願い致します。まず反対の方挙手願います。保留の方挙手願います。賛成の方挙手願います。賛成多数、よって平成25年度決算報告は原案の通り承認されました。ここで議長を藤井と交替させていただきます。



会場1

**藤井議長：**それでは第3号議案平成26年度事業計画を議題と致します。執行部より説明をお願いします。

**篠原会長：**第3号議案平成26年度事業計画案、総括を読ませていただきますが会誌の46ページになります。我が国は明治維新以来良くも悪くも成長の歴史を歩んできた。明治以降第二次世界大戦終了までの約70年間は軍事大国を目指した。第二次世界大戦以降日本経済のピーク時までの約50年間は経済大国を目指した。以後失われた10年とか20年とか言われているが成長を止めたわけではないと考える。日本の伝統文化、和食、アニメ、環境技術、モノづくりの精神、自然などは世界の人々を魅了している。1990年以降現在から2020年の東京オリンピックから先2030年ごろまでの約40年間は文化大国としての成長の時代と位置付けることになるのではないだろうか。そして医療も人間の精神生活も含めた重要な文化的要素である。安倍政権も成長戦略の重要な柱として医療を位置付けた。昨年八月総理大臣官邸

で第1回となる健康医療戦略推進本部が開催され、健康医療戦略、医療分野の研究開発関連予算基本方針などが報告された。安倍総理は冒頭のあいさつで健康長寿社会の実現は阿部政権の成長戦略の柱であります。この健康医療戦略推進本部がその司令塔となって革新的な医療技術実用化のスピードを大幅に引き上げることを目指しています。関係各位におかれては医療分野の研究開発の推進に向け一丸となって取り組んでいただくようお願いを申し上げますと述べた。わたくしたちは歴史から学びながら将来未来のあるべき姿から現在に投影された診療放射線技師、職能団体としての社会的責任を果たし、結果として国民また他の医療職種さらには諸外国から信頼され、必要とされ、チーム医療の重要な一員と認知されるべく活動していかなければならないと考える。そのためには公益社団法人日本診療放射線技師会の政策である、1.がん対策基本計画に基づく診療放射線技師の充実及び環境整備、2.チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用、3.医療安全のための適切な管理体制の構築 (1) 医療放射線による被ばくの管理体制 (2) 放射線関連医療機器の管理体制 (3) 画像データの管理体制、4.養成教育の4年制大学化への移行及び卒後臨床研修の制度化、5.緊急被ばく並びに医療被ばくに対応するための専門官の配置、6.放射線教育普及啓発活動に対する診療放射線技師の活用、7.診療放射線技師法の改正などの推進が不可欠であり、共同して国民の皆さまの信頼にこたえ医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべく各種事業を展開しなければならない。診療放射線技師が社会的価値を一層認められる職能となるために引き続きチーム医療の推進、地球環境と調和した医療技術の向上、生涯教育専門教育の推進を展開していく。高性能化多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を提供するとともにエビデンスに基づいた医療技術を発展、普及させていかなければならない。報告のできる認定技師制度、領域別読影専門技師の育成、業務の診療報酬への反映、関



関理事

連法令の改定など政策立案が必要であり診療放射線学の発展に寄与するとともに生涯教育、専門教育、各種認定、業務範囲の拡大に伴う研修など公益社団法人

日本診療放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携、協力しながら推進していく所存である。また都内各所で開催される行政祭り、イベントにおいて被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など都民の中に入っていく公益事業も支部を中心に引き続き推進する。災害対応への意識を風化させないために防災、減災、緊急被ばく医療、BCPなども災害対策委員会を中心として活動していく。会

員の皆さまのより一層のご支援とご協力をお願いする次第である。以上総括を読ませていただきましたが、以降定款に基づく本件の事業詳細につきましては、会誌47ページ以降に掲載されておりますのでよろしくご審議のほどお願い致します。

**藤井議長：**篠原会長ありがとうございました。それでは第3号議案平成26年度事業計画案に関して質疑応答します。質疑ございませんか。



**第14地区 河手会員：**毎年気になっているのですが、入会促進の事業について前年度はどのような具体的なことを実施したのかと、本年度はどのような活動をするかということをお聞きしたいです。よろしくお願いします。

**篠原会長：**入会促進は毎年のテーマであります。毎年新人の方が配置されてくるので多くの方に入っていただくこと、退会される方を減らすという活動を同時に進めていき、本年度の目標は200人以上の会員増ということを目指しております。具体的にはいろんな方法があるとは思いますが、つい先日フレッシュャーズセミナーという、今年新卒の方を中心とした新人対象のセミナーを行いました。今年は過去にない83名という参加者があり、このような入会しやすいセミナーを開催する。あるいは各施設を訪問し技師長クラスの方々と会合を開き、入会促進を進展させていきたいと今年は考えております。以前から行ってまいりましたが、今年はさらに力を入れたいと考えております。

**藤井議長：**よろしいでしょうか。それでは他にも質疑ございませんか。他に無ければ質疑を終わり、本件についての採決を行わせていただきます。採決係の皆さま準備をお願いします。それでは反対の方举手お願い致します。保留の方举手お願いします。賛成の方举手お願い致します。賛成多数によって平成26年度事業計画案は原案の通り承認さ



れました。それでは第4号議案平成26年度予算書を議題と致します。執行部より説明お願い致します。

**関理事：**平成26年度予算を提案させていただきます。会誌は5月号の56ページから57ページが第4号議案の平成26年度予算案となっております。まず一番上の行を横に見ていただくと公益、目的、事業会計、収益事業など会計、法人会計に分かれており、その合計が右から3番目の予算合計Aになります。その右側に参考として前期予算Bと、その差異A-Bを掲載しました。この3列を見ていただきご説明致します。資料は事前に配布していますので特徴的なものについて説明し、金額については端数の読み上げを省略させていただきます。まず56ページ上半分ですが、1の経常増減の部、(1) 経常収益で本会の収入を示しています。受取会費ですが会員数は2,000名弱ということで正会員と賛助会員で1,950万円を計上しております。その他の事業収益、受け取り寄付金、雑収益については前期予算とほぼ同額を計上しています。次に56ページ下半分と57ページにかけて(2) 経常費用つまり支出をご説明します。前期予算との対比で分かる通り昨年度と同額となっておりますのでおりの節約志向での活動を目指しています。以上より最終的に経常収益は2,518万円、経常費用は2,511万円となり、当期経常増減額は7万円となります。以上平成26年度予算案をご提案致します。ご審議よろしくお願い致します。

**藤井議長：**関理事ありがとうございました。それではこれより質疑に入ります。会場から質疑ございませんか。無ければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採血係の皆さま準備をお願いします。それではこの件に対して反対の方举手お願い致します。保留の方举手お願いします。賛成の方举手お願い致します。賛成多数によって平成26年度予算書は原案の通り承認されました。ありがとうございました。それでは第5号議案の定款改正案および役員の報酬に関する規定を議題と致します。執行部より説明お願い致します。

**篠原会長：**資料は会誌の58ページになります。第5号議案、定款改正案および役員の報酬に関する規定の提案であります。これに関しては資料として会誌に掲載させていただきただけではなく、パブリックコメント募集の方もホームページに掲載させていただきましたので、皆さますでに詳細については把握されていると思います。いくつかある中で今回の定款改正のポイントとしましては、第3章の「会員」ですが、現定款では正会員というのは診療放射線技師または診療エックス線技師の資格を有する者のうち、東京都内に居住または勤務するという縛りがありました。これは監督官庁の東京都からの指導で、以前の社団法人の時からこのような縛りがありました。公益社団法人になるにあっても、東京都の指導は都内在住または在勤でなければ正会員にはなれないという指導でした。ところがもとなる法律で明確な根拠がないのと、都道府県によって縛りが



さまざまであることから、新たに監督官庁へ相談をしたところ、皆さまの会で決定すれば良いことであるという指導がありました。検討の結果、正会員の縛りというのはなくした方がいいたろうということで、新しく提案をさせていただいている定款の方では、都内に居住または勤務するものという文言が削られております。

もう一つ今日の提案の中の重要なところが第5章の役員の報酬などというところになりますが、今までは理事および監事は無報酬と一括してなっておりました。ただわれわれの組織には会員以外で役員を引き受けていただいている方がおり、これは社会通念上一定の範囲での報酬をお支払いするべきであろうと考えました。会誌60ページの役員報酬に関する規定の別表のところに、非常勤役員は今までどおり無報酬とあります。また常勤の役員という方は現在存在しません、会員以外の監事を引き受けていただいている方がいますので、それがこれにあたり、会員以外役員という方にはそれなりの報酬を支払うのが常識と考え、今回提案をさせていただいているところであります。以上、ご審議よろしくお願い致します。



**藤井議長：**ありがとうございました。これより質疑に入ります。会場の皆さま何か質疑ございますか。はいどうぞ。

**第14地区 松坂会員：**第14地区というのは千葉県で賛助会員だったのですが、今回の改正によりまして正会員となるということですね。日放技の総会の代議員の数とかが変わってくると思いますが、東京都だけで定款を変えて大丈夫なのか心配しております。日放技に対して了解のもとでやられたこととか説明していただきたい。

**篠原会長：**日本診療放射線技師会の方は日本診療放射線技師会だけの会員になることはできないので、どこか地方の会員になっていることというのが条件です。中澤日本診療放射線技師会会長は本会の顧問でもありますので、顧問会議の席上で説明をさせていただき、監督官庁の方が問題ないのであれば日本診療放射線技師会としても問題ないこと確認しております。よろしいでしょうか。

**藤井議長：**ありがとうございました。ほかに質疑ございませんか。

**第4地区 佐藤会員：**役員報酬について常勤役員はいま存在しないと説明がありましたが、こういう規定を作るか

らには何か想定されている役職というのがあるのか、ご説明願いたいと思います。

**篠原会長：**日本診療放射線技師会などでは常勤の役員という方がいらっしゃいますけれども、東京都診療放射線技師会は将来的にも今のところ設けるつもりはないですが、こういった定款改正をするときには、あらゆることをある程度想定しておいた方がいいたろうと考え提案しております。現時点では常勤の役員を置くつもりは全くありません。

**藤井議長：**よろしいでしょうか。ほかには質疑ございませんか。それでは本件について採決を行います。なおこの案件は定款の変更ですので定款の規定に則り総正会員の2/3の多数決を持って行います。採決係の皆さま準備をよろしくお願い致します。それでは反対の方举手お願い致します。保留の方举手お願いします。賛成の方举手お願い致します。ありがとうございました。市川篤志 資格審査委員長 書面表決などの報告をお願い致します。

**市川資格審査委員長：**資格審査委員会よりご報告申し上げます。先ほど報告させていただきました書面表決などの内訳ですが、書面表決賛成が772名、反対が3名、委任状ですが会長委任が453名、その他の委任が5名で、この会場への出席を確認しております。以上です。

**藤井議長：**集計の結果をお話させていただきます。書面表決の賛成が772名、反対3名、会長委任が453名、その他の委任が5名ということで、本日の出席数が153



名、反対が0名、保留0名、賛成1,383名ということで総正会員の2/3以上の賛成を得ていることを確認し、よって定款改正案及び役員の報酬に関する規定は原案の通り承認されました。ありがとうございました。それでは以上をもちまして第65回定期総会の議事を終了させていただきます。ただ今をもって議事団の解任をさせていただきます。皆さまのご協力感謝申し上げます。ありがとうございました。

**高橋選挙管理委員長：**選挙管理委員長の高橋克行です。ただいまより定款20条21条に基づいて平成26・27年度の公益社団法人東京都診療放射線技師会役員選出を本総会にて行います。それでは選挙管理委員会より役員選出規定第3条の資格を有する役員候補者をご紹介します。理事候補篠原健一さん、なお篠原さんは会長候補者として表明して



おります。同じく理事候補として浅沼雅康さん、安宅里美さん、飯島利幸さん、石田秀樹さん、市川重治さん、江田哲男さん、岡部博

之さん、葛西一隆さん、工藤年男さん、白木尚さん、鈴木晋さん、関真一さん、竹安直行さん、高坂知靖さん、高野修彰さん、千葉利昭さん、野口幸作さん、平瀬繁男さん、藤田賢一さん、続きまして監事候補乙井不二夫さん、同じく監事候補、野田扇三郎さん、以上理事20名、監事2名であり、定数の範囲内です。従いまして役員選出規定第9条4項に基づき役員は無投票当選と致します。続きまして篠原健一さんが会長候補の表明をしておりますので、本日この会場にお集まりの会員の皆さまで信任投票を行いたいと思います。なお信任投票の方法は挙手により執り行いたいと思います。異議はございませんでしょうか。それでは選挙管理委員の皆さま集計の準備をよろしくお願い致します。それでは平成26年・27年度会長候補として篠原健一さんを信任される方挙手をお願い致します。集計致しますのでしばらくそのままお願い致します。よろしいでしょうか。それではお直りください。それでは不信任の方挙手をお願い致します。信任153名、不信任が0名ということで、選挙管理委員会は篠原健一さんが平成26年27年度会長候補者として信任されたことをご報告致します。以上で平成26年27年度役員選出を終ります。ご協力ありがとうございました。



**石田理事：**選挙管理員の皆さまありがとうございました。それでは平成26・27年度の役員を代表いたしまして篠原会長よりご挨拶をお願いします。

**篠原会長：**皆さまの負託を重く受け止めております。今期で2期3年となります。通常は2の倍数の年数ですが、公益社団法人に移行して1年後に役員改選があり、2期3年この会をお預かりさせていただきました。この間できたことがあったとすれば、会員をはじめ役員の皆さまのおかげでありますし、できなかったことがあるとすれば私の不徳と致すところでございます。反省すべきところは反省して、また2年間の任期を全うしてまいりたいと思いますのでご協力をよろしくお願い致します。6月7日に日本診療放射線技師会も役員改選がありまして、再び中澤会長が本年度から2年、会長を引き続き就任されるということが決まりました。その総会で私も南関東地域の推薦を受けまして、南関東地域の理事として日本診療放射線技師会の方も参画することになりましたので、今まで以上に皆さまのご協力をいただいて日本診療放射線技師会を支えて、この日本の放射線技師の世界をさらに発展させていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

**石田理事：**以上で本日の全日程が終了いたしました。葛西副会長より閉会のご挨拶を申し上げます。

**葛西副会長：**今日1日どうもありがとうございました。第65回定期総会無事終了いたしました。これにて閉会致します。どうもありがとうございました。





# 平成25年度 特別功労賞・功労賞(勤続20年表彰)・小野賞 受賞者

## 【特別功労賞】

佐藤 清榮

## 【功労賞(勤続20年表彰)】

第1地区	小原 伸元	三菱東京UFJ銀行健康センター
第2地区	佐藤 稔	聖路加国際病院
第3地区	草薙 正典	東京都予防医学協会
第3地区	布川 嘉信	慶応義塾大学病院
第3地区	馬場 将光	高洲整形外科内科
第4地区	高橋潤一郎	虎ノ門病院
第4地区	野口 景司	東京慈恵会医科大学附属病院
第5地区	稲葉 玲子	順天堂大学医学部附属練馬病院
第6地区	伊達崎勝教	愛里病院
第6地区	関 のりこ	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
第6地区	蓑田 裕隆	柳原病院
第6地区	室 則子	細田診療所
第7地区	木村 聡	順天堂東京江東高齢者医療センター
第7地区	高瀬 誠	順天堂東京江東高齢者医療センター
第7地区	野口 幸作	東京臨海病院
第7地区	佐藤友加里	
第8地区	渡辺 誠	NTT東日本関東病院
第8地区	大津 元春	東邦大学医療センター大森病院
第10地区	木暮 陽介	順天堂大学医学部附属順天堂医院
第10地区	榮健 一郎	南町病院
第13地区	黒田奈美子	公立福生病院
第13地区	福田 武俊	ふれあい町田ホスピタル
第14地区	高林 正人	松戸市立病院
第15地区	黒澤 和彦	アムスランドクリニック
第15地区	原子 満	帝京大学附属溝口病院
第15地区	福尾 和史	新百合ヶ丘ステーションクリニック

## 【小野賞】

第1地区	真田 昭博	佐々木研究所附属杏雲堂病院
第4地区	石丸 幸喜	東京慈恵会医科大学附属病院
第5地区	關 良充	東京北医療センター
第6地区	柳原 淑幸	東京さくら病院
第10地区	木暮 陽介	順天堂大学医学部附属順天堂医院
第11地区	仲野 誠一	総合病院東京共済病院
第11地区	矢作 真一	緑成会病院
第14地区	高林 正人	松戸市立病院
第16地区	中谷儀一郎	日本医療科学大学



功労賞 (勤続20年表彰)



特別功労賞



小野賞

# 平成25年度 新人奨励賞 受賞報告



## 透視装置使用時の術者の被ばく低減の一考察

発表学会：平成25年度関東甲信越診療放射線技師学術大会

○熊谷果南 土谷健人 太田裕子 佐久間奈美子 土屋由貴 鈴木秀和  
野中孝志 中村 豊 小野正志 梅田宗平 市川重司

公立福生病院

### 【背景】

透視検査に使用される透視線量は昨今、パルス技術などの導入で線量低減が可能であるが透視画像劣化や残像現象など、現場ではなかなか利用しづらいのが現状である。

一方、透視装置には自動可動絞り機能が装備されており、操作が容易で目的部位以外の絞り操作は線量低減にも繋がると思われる。

### 【目的】

透視X線撮影装置における自動可動絞り操作と術者被ばく線量の一考察

### 【使用機器】

- ・X線透視撮影装置：Sonialvision Safire II（島津製作所）
- ・線量計：SURVEYMETER ICS-311（Aloka）

## 【方法】

装置のモニターサイズに対し自動可動絞りを上下左右、上下、左右と操作していき、フルオープンから面積比で10%、20%、30%、50%と絞りの割合を増加させ、厚さ20cmのアクリルファントムを用いて散乱線の変化を測定した。(Fig.1, Fig.2)

また、線量計の測定位置は線量計—ファントム間距離を50cmとし、

・垂直方向：生殖腺（75cm）および水晶体（150cm）

・SID：120cm及び150cm

をそれぞれ4パターンにて測定を行った。(Fig.3)

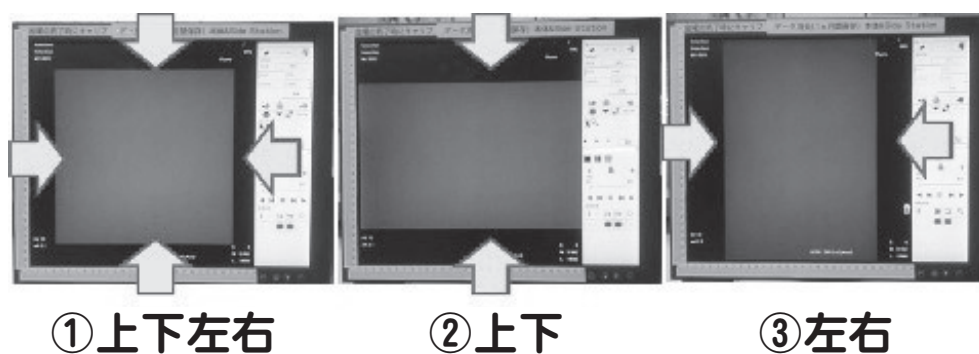


Fig.1 自動可動絞りの操作法

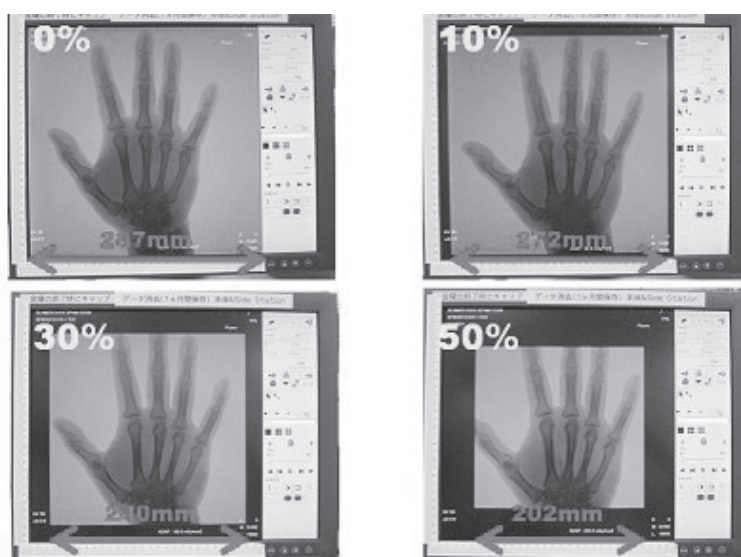


Fig.2 絞り割合

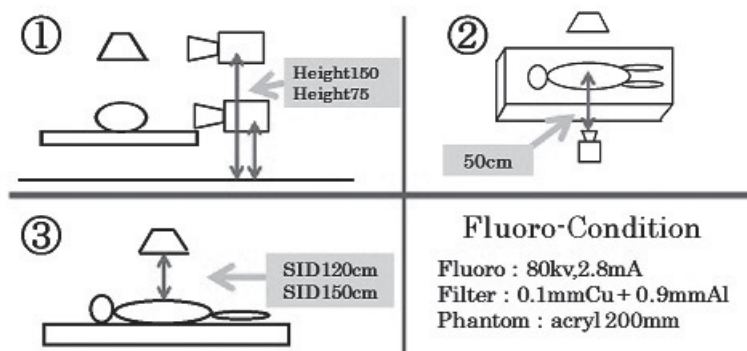
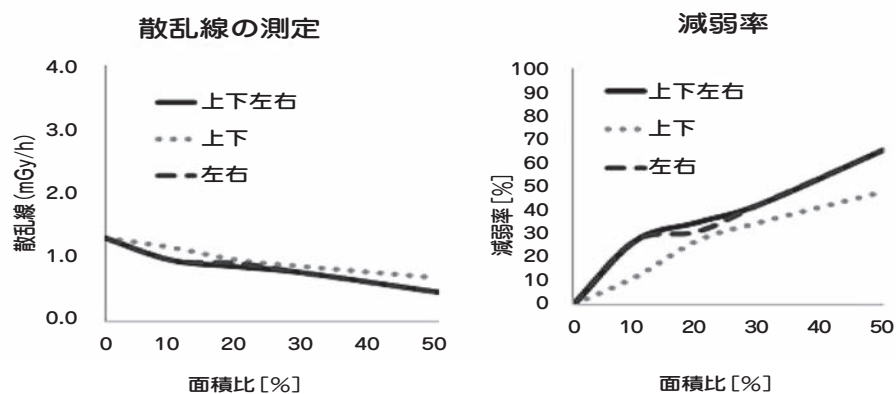


Fig.3 測定位置

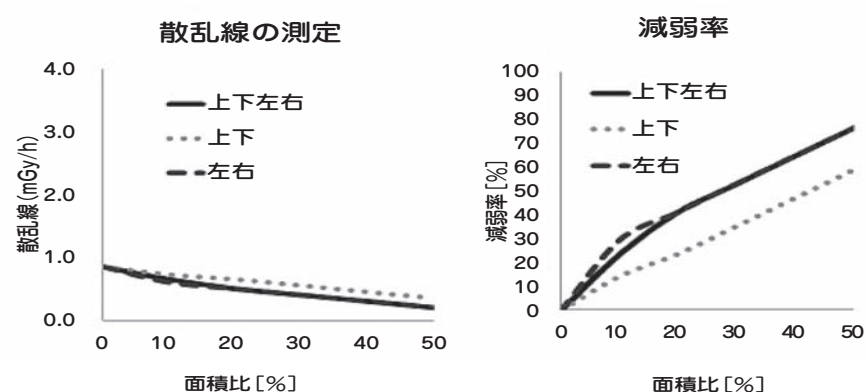


## 【測定結果】

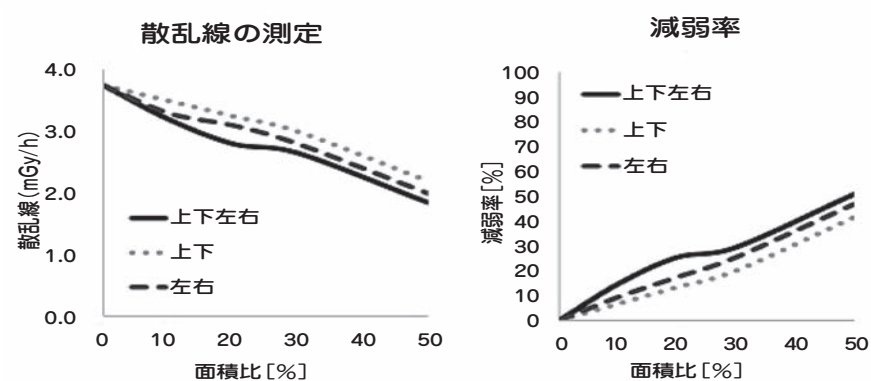
### ① 線量計が生殖腺の高さでSID120cm



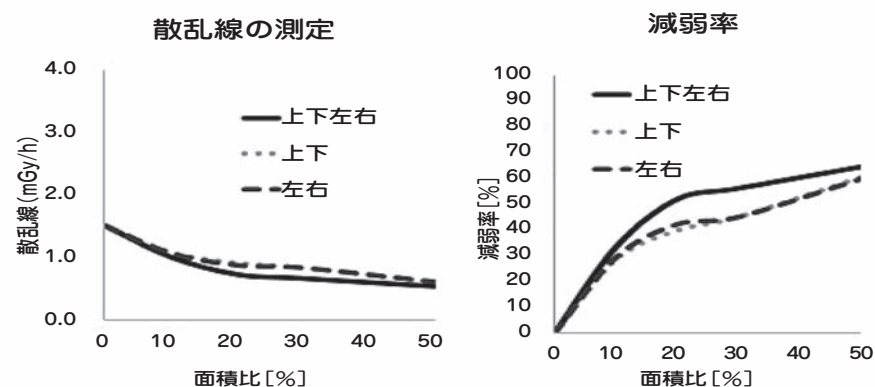
### ② 線量計が生殖腺の高さでSID150cm



### ③ 線量計が氷晶体の高さでSID120cm



### ④ 線量計が氷晶体の高さでSID150cm



## 【結果】

自動可動絞りを上下左右に絞った場合と左右に絞った場合、ほぼ同じように減弱し、減弱が大きく、測定位置が生殖腺の高さでSID150cmのとき減弱率が76.5%と大きく減弱した。

線量計が氷晶体の高さのとき、自動可動絞りを上下左右に入れたとき減弱率が一番大きくなり、また、SID120cmの場合と150cmの場合を比べるとSID150cmの方が減弱率が大きい結果となった。

## 【考察】

自動可動絞りをを用いて上下左右及び左右に絞りを入れたときは線量計側に絞りを入れたため、減弱率が高くなったと考えられる。また、SID150cmのとき、X線管からファントムまでの距離の違いにより、減弱率が大きくなったと考えられる。

透視検査を行う際、自動可動絞りを約10%使用することで検査上、支障となることも少なく、減弱率も20%前後と高いため自動可動絞りを活用することの有用性は高いと考えられる。

## 【結語】

僅かな自動可動絞り操作でも術者線量を低下させる効果は大きく有効なツールと考えられる。

## 東放技は積極的に参加します

### レントゲン週間イベント

平成26年11月3日(月)

横浜クイーンズサークル

### OTAふれあい フェスタ2014

平成26年11月2日(日)～3日(祝)

平和島競艇場

### ピンクリボン ウォーク2015

平成27年3月29日(日)(予定)

日比谷公園

## 「城東支部研修会に参加して」

三井記念病院 桐原 駿

平成26年7月18日(金)に永寿総合病院にて開催された、平成26年度城東支部研修会に参加しました。講師は永寿総合病院 整形外科部長 河野克己先生が担当され、脊柱・脊椎側彎症について講義をしてくださりました。私は診療放射線技師として働き始めて4ヶ月が過ぎたばかりの新人で、講義の内容についていけるかはじめは心配でしたが、河野先生のお話は分かりやすくあっという間に時間が過ぎてしまいました。

先生からまず側彎症の患者に必要な検査についてお話がありました。全脊椎の一般撮影画像から側彎症の診断で用いられるcobb角の測定法について、また側彎症の改善に関わる骨成熟度を手や骨盤の画像を用いて行うことなどを解説されました。CTにおいては作成したVRから、牽引して撮像した一般撮影画像を参考にどの椎体をどこまで固定するかという術前計画を立てること、またMRIでは撮像した脊髄の画像から脊髄偏位などの異常がないか確かめることで、術後の脊髄麻痺のリスクの検討を行っているとのことでした。側彎症

の患者は体位困難なこともありますが、このように側彎症の診断・治療に欠かせない検査であるため、目的に沿った画像の提供に努めていきたいと思います。

その他に装具療法や手術後の改善の比較について、さまざまな臨床画像の紹介がありました。側彎症の治療において年齢や骨成熟度、側彎の進行度が重要であることを良く理解することができました。また側彎症は外見上の問題だけではなく、重症度の高い場合では胸郭が歪むことで肺や心臓に負荷がかかり、生命にも関わる危険性があり決して軽視できず、正しい理解が必要な疾患であるというお話は特に印象に残りました。

医師の要望に沿った画像を提供できるように、今後もこのような勉強会を活かし、業務にフィードバックしていければと思います。このような会を主催していただいた東京都診療放射線技師会城東支部の皆さま、講師の永寿総合病院の整形外科部長河野克己先生、ありがとうございました。





## サマーセミナー印象記

東洋公衆衛生学院 鎌田 拓

今回、初めてサマーセミナーに参加して多くの知識を得られました。

最初の題材は心臓MR検査について取り上げられました。その他の題材としてペースメーカーのMRI対応や、各装置メーカーの静音技術についての報告が行われました。その中で一番興味を持った心臓MRIを中心に書きたいと思います。

実際の臨床現場において心臓CT検査は、5日間で2件行われていましたが、MRI検査は0件でした。これらの結果を踏まえても、CT検査で心臓検査をする方が現段階では多いように感じました。しかし、心臓MRIでは冠動脈撮像だけでなく、多彩なシーケンスとGd-

DTPA造影剤を駆使することで、従来の心臓画像診断をシネMRIによる心筋壁運動評価、遅延造影MRI、パフュージョンMRIによる心機能評価が可能で、現在ではすべての心臓画像診断をMRIで対応できるとのことでした。

実際に心臓MRI検査は増加傾向であり、今後の需要が多く見込めます。より心臓MRIを身近なものにさせるためにも、検査時間の短縮が何よりも大事だと感じました。各装置メーカーの話を聞いてみても問題点を改善してきており、近い将来更に心臓MRIが普及する日も近いと思いました。



## 第13回城北支部研修会印象記

新葛飾病院 岡部博之

城北支部研修会では、さまざまな分野から講師を依頼し勉強会を行なっています。今回は練馬光が丘病院の夏井睦先生をお招きして、炭水化物摂取の影響についてご講演をいただきました。3大栄養素にもあげられる炭水化物を摂取する必要はないと、言い切る先生の講演をとても興味深く拝聴させていただきました。

まず、アンケート調査報告からはじまり過去の食事摂取の歴史、それに伴うその時代の人類体長の変化、また栄養素変換の生理学を交え、丁寧に説明していただきました。特に印象に残った内容としては、実践者アンケート調査をおこなったところ、体重減少はもちろんのこと2日酔いがなくなった・食後の眠気がなくなり収集力が高まるようになったなどの効果があったとの報告があったそうです。聴講者にも実践されたことがある方がいらっしゃり、同様の効果を体感されたというお話もお聞きました。私もこの印象記を書いている時期までに何度か飲み会があり、なんとなく先生の講演のことが頭にあったので、炭水化物を取らないようにしてみたところ（飲酒後の締めラーメンも、もちろん無し）、確かに2日酔いが軽くなったような気がします（飲み過ぎて朝になっても酔っている＝午前様は別）。

そのほか、炭水化物（糖質）は嗜好品と一緒に中毒性の要素があり離脱は大変とのことでした。“プチ・スタンダード・スーパー”の3段階に分けてのチャレンジすることがお勧めのようです。こちらにも経験者からのお話ですが、炭水化物禁断症状がでて禁煙より辛いとのことでした。しかし、糖尿病予防にもなるとのことですのでチャレンジする価値はあると思われます。私としては、炭水化物からの完全離脱は難しいかもしれませんが炭水化物制限は行なっていきたいと考えています。

また、会場では多くの方々から質問が寄せられ、実際に炭水化物摂取制限を行なっている方も含め盛んに意見交換が行われました。非常に有意義な時間を過ごすことができました。夏井先生をはじめ参加していただいた皆さまに感謝いたします。今後も企画メンバーの一人として興味深いテーマを提供して行きたいと思っていますので、今後も城北支部研修会に興味を示していただければ幸いです。

先生のお考え（科学・医学の情報に著作権は存在しない!）により、講演で使用したスライドが閲覧可能です。

<http://www.wound-treatment.jp/slide.htm>



講師：夏井 睦 先生



会場風景

## 第13回城北支部研修会に参加して

順天堂大学医学部附属順天堂医院 稲毛秀一

平成26年9月12日、第13回城北支部研修会に参加させていただきました。本年度は、夏井睦先生の「炭水化物が人類を滅ぼす」というテーマの講演を聞けるということで、普段からダイエットの必要性を感じている私にとっては非常に楽しみにしていました。

講演は、われわれの主食である米、パンなどの炭水化物は必須栄養素でなく、糖質は体内で合成できるため摂取する必要はないという驚きの内容から始まり、これまで自分がもっていたダイエットへの考えが根底から覆されてしまいました。

糖質制限さえすれば脂質やタンパク質はしっかり摂って良いので、肉や魚はお腹いっぱい食べられるということや、野菜や果物にも糖質が含まれていること、カロリー計算は必要ないといった内容もエビデンスを含めながら説明してくださったので、非常に説得力がありま

した。

一番大切なのは糖質が多い食品をあらかじめ把握しておき、そうした食品をさけるようにすれば良いということで糖質制限において気をつけるべき食品を非常に細かく教えていただきました。

その後の懇親会に参加された皆さまは、飲物や食べ物の注文に苦労されたのではないかと思います。

成人病、特に糖尿病やその予備軍が急増している現代において、それらの画期的な予防・治療法として「糖質制限」があることを今回の研修会において学ばせていただきました。ダイエットをしようという良いきっかけにもなり、非常に有意義な時間を過ごすことができました。夏井先生におかれましては、貴重なお話しありがとうございました。



夏井 睦 先生



著書購入者へのサイン



# 第74回公益社団法人日本診療放射線技師会定期総会報告

代議員 葛西一隆

第74回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が、平成26年6月7日(土) 日経ホールにて開催されました。東京都診療放射線技師会としては5月29日に代議員大会を開催し、総会資料を基に東京都としての意見集約を行い総会へと臨みました。全国都道府県技師会185名の代議員と総会職員が参集され、東京都からの代議員は13名、総会職員として7名の参加でありました。今回の総会において、本会役員から篠原会長が南関東地域理事へ、江田理事が全国理事へ立候補した関係で、事前に代議員の変更を行いました。11時より井戸副会長の開会の辞にはじまり会長挨拶、続いて表彰委員会からの報告があり、各功労者表彰、勤続表彰の答申がなされ、今年の総合学術大会(大分県開催)で表彰を受けられることとなりました。次いで、昨年学術大会を開催した島根県放射線技師会へ感謝状の贈呈が行われました。

総会運営委員会報告により出席者は167名、委任状は17名と報告があり、議事へと進行了しました。

議長は、熊本県の肥合代議員と新潟県の渡邉代議員が立候補にて選出され、議事が開始されました。

昨年の総会にて質問・提案がありました事業報告と決算報告は議事としてではなく、報告事項となりました。さまざまな質問や意見、要望があり、活発な議論が展開されました。議事内容に関しては日本診療放射線技師会会誌をご参考にしてください。

評決に関しては、

◆ 第1号議案 平成26年度事業計画案 反対 0票 保留 0票 賛成176票

◆ 第2号議案 平成26年度予算案 反対 0票 保留 0票 賛成176票

すべての執行部提案事項が可決されました。

続いて

◆ 第3号議案 平成26年度・27年度役員の選出が行われました。

監事・外部理事・地域理事は定数内であり、全員が信任投票の上、選任されました。全国理事に対しては、14名以内の定数に対し18名が立候補しており、選挙にて過半数を獲得した14名が選任されました。全国理事開票結果については、橋本 薫・児玉直樹・小川 清・富田博信・北村秀秋・中澤靖夫・小田正記・畦元将吾・江田哲男・小野欽也・原田信次・中村 勝・熊代正行・小林一郎 以上の方々が選任された。今回の総会において、東京都からの選出役員は5名となりました。

この後、理事会が行われて、会長：中澤靖夫、副会長・小川 清、佐野幹夫の発表がありました。

全体を通じて、日本診療放射線技師会らしい厳正で静粛した総会であり、今後の日本診療放射線技師会の発展に期待できる方向性を垣間見られたように感じました。

総会代議員の活発な意見交換、および総会職員の努力に敬意を表したいと思います。

# 第75回公益社団法人日本診療放射線技師会臨時総会報告

代議員 葛西一隆

第75回公益社団法人日本診療放射線技師会臨時総会が平成26年7月18日(金) A P 浜松町にて開催されました。今回の臨時総会は、環境省委託事業に伴う補正予算の審議でありました。平日の午後ということもあり、書面表決、委任状という代議員が多くありました。本会からは5名の代議員が出席されました。環境省からの委託の経緯、一時的な本会会計からの支出への補正計上という内容であり、執行部提案通り承認されました。

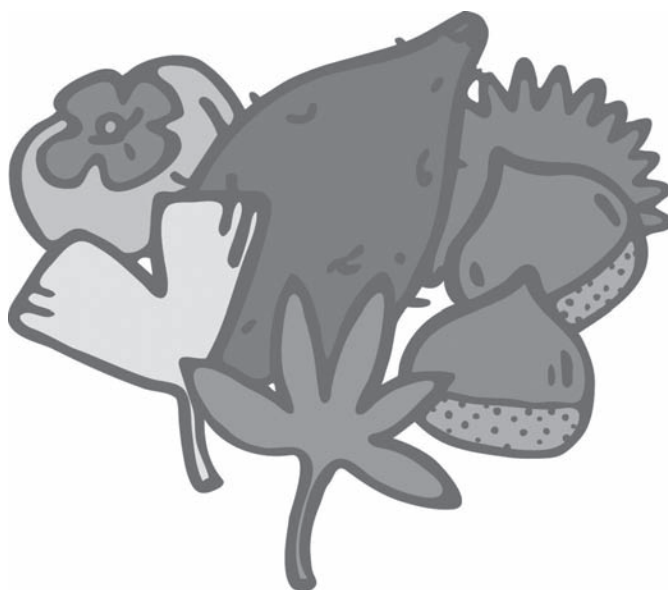
◆ 第1号議案 環境省委託業務事業について

反対 1票 保留 0票 賛成141票

◆ 第2号議案 環境省委託業務に伴う補正予算(案)について

反対 1票 保留 1票 賛成138票

われわれ東京都診療放射線技師会として、今回の事業そのものの対象地域ではありませんが、東京都の会員の居住範囲の地域であり、今後も日本診療放射線技師会や対象県と連携し、協力しながら事業を進めていきたいと考えています。皆さまのご協力をお願いいたします。



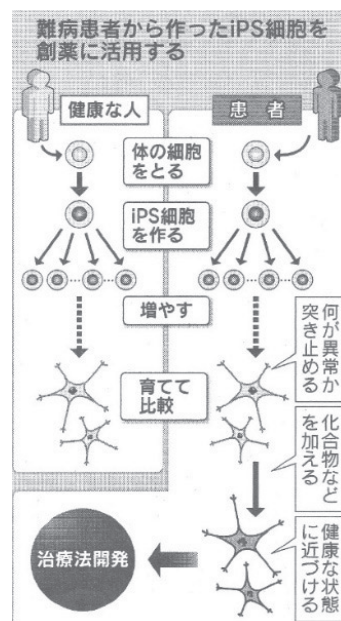
## NEWS ひろい読み

### 胃がん8割 ピロリ菌原因/WHO専門組織 除菌で30～40%発生減

胃がんの発症につながるとされるヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）について、世界保健機関（WHO）の専門組織である国際がん研究機関の作業部会は、全世界の胃がんの約8割はピロリ菌の慢性的な感染が原因とする報告書をまとめた。ピロリ菌の除菌で胃がん発生の危険性が30～40%減る可能性があることから、各国がピロリ菌を考慮した胃がん対策をとるよう勧めている。報告書では、ピロリ菌は全胃がんの78%、特に日本人に多い、噴門部以外の胃がんでは89%が、ピロリ菌が原因と推定されたとした。除菌の効果は、まだ十分なデータがないものの、これまでの研究結果の解析では胃がんの発生を30～40%減少させ、1人が1年にかかる医療費も削減する効果が出ているとした。ピロリ菌対策として、日本では昨年からは内視鏡で慢性胃炎と診断された人に除菌治療を保険適用で行うなど、各国の取り組みを紹介。一方で、除菌によって抗生物質の耐性菌が増える可能性なども示し、「各国が患者数や医療優先度、経済効果の分析をした上で、ピロリ菌の検査と治療戦略を地域ごとに模索することを勧める」と結論づけた。胃がんは日本人が最も多くかかるがんで、死亡者数も肺がんに次ぎ2位。世界では年間約100万人が発症する。(9.23読売)

### 患者からiPS細胞作製/認知症・免疫不全症など難病再現 治療薬探す

難病患者の皮膚や血液などの細胞からiPS細胞を作り、研究に活用する取り組みが進んでいる。慶応義塾大学の岡野栄之教授らは認知症のアルツハイマー病など、京都大学の中畑龍俊教授らは先天性免疫不全症などで、それぞれ患者由来のiPS細胞を作った。細胞の成長過程を追いかけて異常を詳しく解明し、新薬開発などに役立てる。さまざまな病気の患者の体の細胞の提供を受けて作ったiPS細胞は、「疾患特異的iPS細胞」と呼ぶ。慶大の岡野教授らはアルツハイマー病やパーキンソン病など約50の神経難病の患者から皮膚や血液の提供を受け、iPS細胞を作った。実際に小児神経難病の患者のiPS細胞を神経細胞に成長させた。まひなどの症状の原因と考えられる異常が再現できたという。難治性のてんかんでも、患者からiPS細胞を作り、神経細胞に育てた。脳の抑制機能に関わる個々の神経細胞を調べ、働きが弱くなっているのを確認した。てんかんの症状につながる状態を再現できたとみている。慶大は連携する研究機関や製薬会社なども研究に活用できるよう、細胞を管理し、治療法の開発に役立てる。病気の種類も増やしていく計画だ。京大の中畑教授らは血液の難病や免疫系に異常がある先天性疾病など約20種類の病気で、患者由来のiPS細胞を作った。このうちの一部はすでに企業などが利用できる。今後は利用可能な数を増やしていく考えだ。患者のiPS細胞を作ること自体が難しいこともある。「AK2」という遺伝子に異常があり、免疫の重要な機能が果たせない遺伝性疾患が一例だ。京大は血液の細胞などにあらかじめ正常な遺伝子を補っておくと、iPS細胞が作れるようになるのを突き止めた。患者自身のiPS細胞をもとに、正常に働く免疫細胞を作って移植する新しい治療法の開発につながる可能性があるとしている。ALS（筋萎縮性側索硬化症）の患者由来のiPS細胞からは、筋肉につながる運動神経の細胞を作った。できた数は正常なiPS細胞から作るのとはほぼ同じだったが、形に明らかな違いが見つかった。ストレスをかけると細胞が壊れてしまった。細胞の中に特定のたんぱく質が蓄積しているためと考えられるという。京大では、カシューナッツの皮の酸をくわえると細胞の形が改善することを突き止めており、新薬の候補の1つになるとみている。京大は今後5年間で5つの病気の新しい治療法の開発を目標に掲げて研究を進める。(9.8日経産)



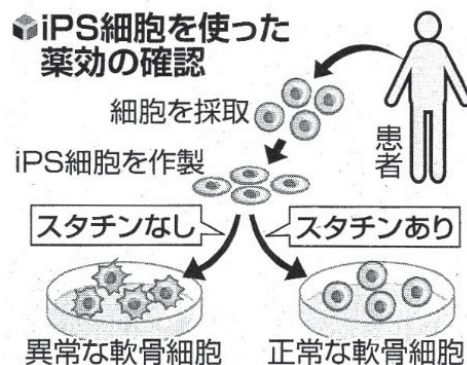


尿の塩分再吸収、高血圧の一因

東京医科歯科大学の内田信一教授らは熊本大学と共同で、塩分をとりすぎると高血圧になる仕組みの一端を突き止めた。尿と血液の間で塩分を調整している尿細管細胞が、一度尿として排出した塩分を再吸収してしまう異常を起こしていた。塩分の再吸収を抑える新たな降圧薬の開発につながると考えている。(9.17日経産)

### 軟骨難病 iPSで薬効確認/2年内の治験目指す

軟骨や骨の異常で低身長や呼吸障害になる難病の治療に、高コレステロールの治療薬として広く使われるスタチンが有効とみられることが、iPS細胞(人工多能性幹細胞)を用いた実験で示されたと、京成大iPS細胞研究所の妻木範行教授らが発表した。2年以内に人に投与する臨床試験(治験)の実施を目指す。実現すれば、iPS細胞を薬の開発に生かした初の事例となる可能性がある。18日付の英科学誌ネイチャー(電子版)に論文が掲載される。軟骨無形成症とタナトフォリック骨異形成症という難病は、生まれつき遺伝子に異常があるため、それぞれ軟骨や骨が発達しない。ともに新生児の2万~4万人に1人が発症する。現在は有効な治療薬がない。妻木教授らは、軟骨無形成症患者の皮膚からiPS細胞を作製。軟骨に変化させるたんぱく質を加えても異常な細胞しかできず、病気の特徴が再現された。このiPS細胞を軟骨細胞に変化させる過程で、軟骨の成長を促すとの報告がある薬を加えたところ、スタチンが最も効果的に正常な軟骨を形成させることがわかった。そこで遺伝子操作で軟骨無形成症にしたマウスにスタチンを投与すると、その軟骨は正常なマウスと同等に成長した。軟骨無形成症患者は、軟骨を分解するたんぱく質が増えすぎるとみられるが、スタチンは、その働きを抑えるらしい。タナトフォリック骨異形成症でも同様の結果が得られた。妻木教授は「人体への安全性や効果を慎重に検証したい」として、治験を大阪大病院と兵庫医大病院で行う方針だ。安全性が確立されるまでは、患者が自己判断でスタチンを内服するのは危険だという。(9.18読売)



## 診療放射線学科専任教員募集

# 東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立68年の伝統と4省認定校

**募集対象者：**診療放射線技師(臨床実務経験5年以上)、教育経験あればなお可

**募集人員：**若干名

**学 校 名：**東京電子専門学校

**住 所：**〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

**待 遇：**経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇  
賞与(昨年度実績5.45月)、交通費支給

**勤務・休日：**9:00~17:00(実働7時間)、週休2日(土日祭休)休出は代休有、半日有給制度有

**社会保険：**社会保険完備(私学共済)

**宿舍の有無：**なし

**応募方法：**履歴書(写)、職務経歴書、資格者証のコピー(必要なもののみ)、通勤可能な方、  
担当できる教科(可能であればお知らせください)

**担 当 者：**脇坂 哲夫 E-mail: wakisaka@tokyo-ec.ac.jp

TEL: 03(3982)3131(大代表) FAX: 03(3980)6404

## 超音波画像研究会 定例会・講習会のお知らせ

### 超音波画像研究会

<http://us-image.kenkyuukai.jp/>

### 第9回ワンバイツー講習会

腹部初心者講習会の既受講者や初心者から一歩進んだ方を対象とした、装置1台に受講者2名の上腹部超音波検査を徹底してレベルアップするためのハンズオンセミナーです。

日時：平成26年11月9日（日）8時45分～17時00分

会場：中央医療技術専門学校（東京都葛飾区立石3-5-12）

参加費：会 員 20,000円（昼食含む、会員とは入会金支払い済みである会員）

準会員 25,000円（ホームページ上での入会者、入会金・昼食含む）

非会員 25,000円（入会金・昼食含む）

（会費は事前に銀行振り込みとなります）

定 員：12名（定員になりしだい受付終了いたします）

\* 申込方法など詳細はホームページにてご確認ください。

<http://us-image.kenkyuukai.jp/information/>

平成26年度 東京都がん検診センター

## 第1回乳がん検診従事者講演会のお知らせ

- 1 実施日：平成26年11月22日(土) 14時から16時まで
- 2 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター棟310室(下図参照)
- 3 対象：乳がん検診に従事している医師、臨床検査技師、診療放射線技師、看護師 等
- 4 受講定員：先着150名程度
- 5 受講料：3,000円(当日お持ちください)
- 6 申込方法：①メールアドレスをお持ちの方 当センターHP講習会予約フォーム  
(<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>) からお申し込みください。  
②メールアドレスをお持ちでない方 申込書をFAXにて下記までお送りください。  
受講いただけない場合のみ、受講連絡先にご連絡いたします。
- 7 申込締切：定員に達し次第(当センターホームページをご確認ください)
- 8 テーマ及び講師

### 『検診でも診療でも役に立つマンモグラフィと超音波の総合判定の考え方』

公益財団法人東京都予防医学協会 健康支援センター がん検診診断部 乳腺科

坂 佳奈子 先生

現在、40歳代に対してマンモグラフィに超音波を併用するか否かの無作為対照研究(J-START)が実施されており、平成27年には研究結果が発表される予定となっております。マンモグラフィに超音波検査を加えた方が良いという結果が出た場合には、新たな検診の診断基準を確立する必要が生じます。

今回の講演では、「マンモグラフィと超音波の総合判定」の考え方や超音波検査の果たすべき役割について解説したいと思います。

#### 《お申し込み・お問合せ先》

公益財団法人東京都保健医療公社東京都がん検診センター 研修担当：三浦  
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2

TEL：042-327-0201 FAX：042-327-0297

E-mail：togan@tokyo-cdc.jp URL： <http://www.tokyo-cdc.jp/>

#### 《会場案内》



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立オリンピック記念青少年総合センター

URL: <http://nyc.niye.go.jp/>



#### ■ 小田急線：

参宮橋駅下車徒歩約7分

#### ■ 地下鉄千代田線：

代々木公園駅(C02)下車

(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分

#### ■ 京王バス：

新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車

渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車



平成26年度 東京都がん検診センター  
第1回乳がん検診従事者講演会 受講申請書

日時:平成26年11月22日(土) 14時～16時

ふりがな 氏 名	
勤務先名称	
勤務先住所	〒 _____
電話番号	
FAX	
職 種	医師・臨床検査技師・診療放射線技師・その他( )

- ※ 受講できない場合のみご連絡いたしますので、FAX 番号をご記入ください。
- ※ 定員になり次第、募集を締め切らせていただきますので募集締切を当センターホームページで  
ご確認の上、お申し込みください。

平成26年度 東京都がん検診センター

## 第2回乳がん検診従事者講演会のお知らせ

- 1 実施日：平成26年12月4日(木) 17時00分から19時00分まで
- 2 会場：東京都がん検診センター 3階講堂(下図参照)
- 3 対象：乳がん検診に従事している医師、診療放射線技師 等
- 4 受講定員：先着60名程度
- 5 受講料：3,000円(当日お持ちください)
- 6 申込方法：①メールアドレスをお持ちの方 当センターHP講習会予約フォーム  
(<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>)からお申し込みください。  
②メールアドレスをお持ちでない方 申込書をFAXにて下記までお送りください。  
受講いただけない場合のみ、受講連絡先にご連絡いたします。
- 7 申込締切：定員に達し次第(当センターホームページをご確認ください)
- 8 テーマ及び講師

### 『乳房用X線装置の精度管理再入門とデジタルマンモグラフィの最新動向』

群馬県立県民健康科学大学大学院 診療放射線学研究科

根岸 徹 先生

乳房用X線装置の精度管理はアナログからデジタルに変化しても多くの管理項目があります。  
その精度管理の再入門として簡単に解説をしたいと思います。

またデジタルマンモグラフィの最新動向として、陽極材質や付加フィルタ材質の変更(モリブデンターゲットからタングステンターゲット、モリブデンフィルタから銀フィルタなど)の理由、そしてデジタルブレストトモシンセシス(DBT)の平均乳腺線量測定法や現在検討されている精度管理方法について解説する予定です。

《お申し込み・お問合せ先》

公益財団法人東京都保健医療公社東京都がん検診センター 研修担当：三浦

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2

TEL：042-327-0201 FAX：042-327-0297

E-mail：togan@tokyo-cdc.jp URL：http://www.tokyo-cdc.jp/

#### ○JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」

徒歩15分

西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車

#### ○JR中央線「国分寺駅」

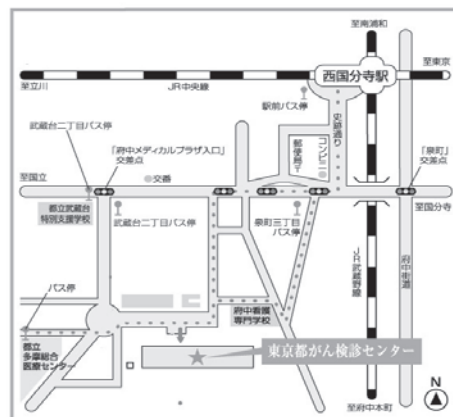
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車

#### ○JR中央線「国立駅」

国立駅南口「府中駅」行バス 総合医療センター下車

#### ○京王線「府中駅」

「国立駅」行バス 総合医療センター下車



平成26年度 東京都がん検診センター  
第2回乳がん検診従事者講演会 受講申請書

日時:平成26年12月4日(木) 17時00分～19時00分

ふりがな 氏 名	
勤務先名称	
勤務先住所	〒 _____
電話番号	
FAX	
職 種	医師 ・ 診療放射線技師 ・ 臨床検査技師 ・ その他( )

- ※ 受講できない場合のみご連絡いたしますので、FAX 番号をご記入ください。
- ※ 定員になり次第、募集を締め切らせていただきますので募集締切を当センターホームページで  
ご確認の上、お申し込みください。



平成26年度 東京都がん検診センター

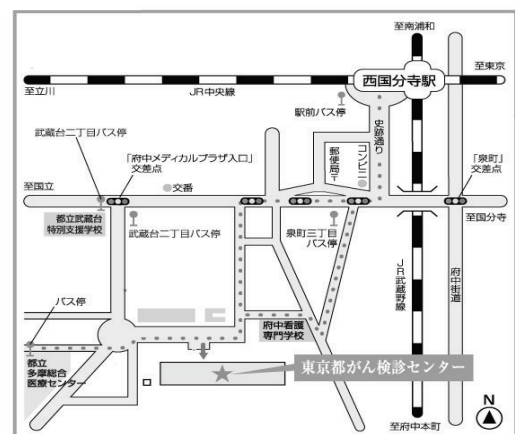
## マンモグラフィ研修会（読影入門編）

マンモグラフィ検査に携わって間もない方、基礎から学びたい方を対象に、読影の基礎を内容とした研修会を実施します。用語の解説などの講義を行い、読影実習では実際に症例を見て読影し解説を行います。

- 1 対 象：診療放射線技師
- 2 実施日時：第3回 平成27年1月15日（木）13：25～17：00  
第4回 平成27年1月16日（金）13：25～17：00  
※2回とも同じ内容です。
- 3 内 容：
  - 13：25～ オリエンテーション
  - 13：30～14：10 講義『マンモグラフィ読影の基礎』 当センター乳腺腫瘍外科医師
  - 14：10～14：40 講義『マンモグラフィ所見用語の解説』 当センター放射線科技師
  - 14：50～17：00 臨床マンモグラム読影実習（グループ実習）当センター放射線科技師
- 4 会 場：東京都がん検診センター 2階研修室（下図参照）
- 5 募集定員：各回 先着36名（定員に達した時点で締め切ります）
- 6 受 講 料：3,000円（当日、お持ちください）
- 7 持 ち 物：ルーペ（写真読影時に使用）、筆記用具
- 8 申込方法：①メールアドレスをお持ちの方 当センターHP講習会予約フォーム  
（<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>）からお申し込みください。  
②メールアドレスをお持ちでない方 申込書をFAXにて下記までお送りください。  
受講いただけない場合のみ、受講連絡先にご連絡いたします。
- 9 申込み及びお問合せ先：
  - （公財）東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当 三浦
  - 〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
  - TEL：042-327-0201（代） FAX：042-327-0297 E-mail：togan@tokyo-cdc.jp

### <研修会場案内図>

- JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」  
徒歩15分  
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国分寺駅」  
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国立駅」  
国立駅南口「府中駅」行バス 終点下車
- 京王線「府中駅」  
「国立駅」行バス 総合医療センター下車



平成26年度 東京都がん検診センター  
マンモグラフィ研修会 ～読影入門編～  
受 講 申 請 書

参加希望日に○をしてください。

( ) 第3回 平成27年1月15日(木) 13:25~17:00

( ) 第4回 平成27年1月16日(金) 13:25~17:00

ふりがな  
氏 名 性別 男 ・ 女

勤務先名称

郵便番号 〒

住所

電話番号

受講連絡先 \_\_\_\_\_  
(FAX) \_\_\_\_\_

\* FAXにてお申込みいただいた方には、受講の可否を上記連絡先へご連絡いたします。

マンモグラフィ経験年数

## 日本消化器画像診断情報研究会（日消研）第7回セミナーin福島

日本消化器画像診断情報研究会

会 長 埋橋 喜次

この度、日消研第7回セミナーin福島を下記要領にて開催することとなりました。

今回のセミナーは、胃X線検査に必要な知識と技術を一貫して習得できるよう企画しました。胃X線検査のスキルアップを目指す皆様にとって絶好の機会と思います。ぜひ、お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い致します。

### 記

- 1 開催日時：平成26年11月22日（土）13：30（受付13：00～）
- 2 場 所：コラッセふくしま（<http://www.corasse.com/>）（TEL：024-525-4089）  
福島市三河南町1番20号  
JR福島駅（東北新幹線、東北本線、奥羽本線）西口より徒歩3分  
東北自動車道 福島西IC、飯坂ICから車で15分
- 3 テー マ：胃X線検査スキルアップ～撮影から病理まで～
- 4 対 象 者：初心者からベテランまで幅広く対象にしています。
- 5 講義内容及び講師予定
  - ① 13：30～13：40 「会長挨拶」練馬区医師会医療健診センター 埋橋 善次 会長
  - ② 13：40～14：10 「胃X線検査における有害事象  
～消化管穿孔と発泡顆粒における一過性虚血～」  
(株)伏見製薬所 品質保証課 安部由佳子 氏
  - ③ 14：10～15：10 「胃X線検査、病変描出のポイント  
～精密検査の経験から検診の応用へ～」  
(公財)早期胃癌検診協会附属茅場町クリニック 放射線科 工藤 泰 技師
  - ④ 15：20～16：40 「胃X線読影～ブレイクスルーへの道～」  
(公財)東京都保健医療公社 東京都がん検診センター消化器内科 水谷 勝 先生
  - ⑤ 16：40～18：00 「胃癌診断レベルアップ～X線像と病理組織像の対比～」  
J A北海道厚生連 札幌厚生病院 臨床病理科 市原 真 先生
  - ⑥ 閉 会 セミナー受講証配布
- 6 18：30～ 情報交換会（会費3,500円別途徴収します）
- 7 会 費：日消研会員1,000円、非会員2,000円
- 8 セミナー当日、日消研に入会登録をされた方は、年会費3,000円を頂戴致します。  
※セミナー当日、日消研に入会された方の参加費は無料となります。
- 9 申込み／問合わせ先：日消研第7回セミナー担当 亀山 欣之  
(公財)福島県保健衛生協会放射線課 TEL 024-546-0694  
メールアドレス：housyasen2@fhk.or.jp
- 10 申込期限：2014年11月7日（金）
- 11 申込方法：セミナー及び情報交換会の参加を希望される方は、上記メールアドレスに氏名、施設名を記入の上、お申し込み下さい。



## 第37回消化管造影技術研修会のご案内

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部では毎年、消化管造影検査に携わる診療放射線技師を対象に、消化管造影技術研修会を開催しています。この研修会は、ガイドライン撮影法の正しい理解と、検査中に異常を判断し、適切な表現を可能とする知識と造影技術および読影法の習得を目的とし、3日間をかけて実施しています。

各講師陣による内容の深い講義および持参画像検討会と技術指導は、毎回多くの受講生より好評を得ております。この機会に是非受講していただきますようご案内申し上げます。

### 記

【開催期日】 平成27年1月30日(金)～2月1日(日)

【研修会場】 日本青年館ホテル 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘7-1 TEL 03-3401-0101

【受講資格】 消化管造影検査に係わりのある方ならどなたでも受講できます。

【受講費用】 日本消化器がん検診学会 正会員または一般会員A,B 30,000円、  
非会員 50,000円

【募集人数】 100名(定員になり次第締め切ります)

【宿泊について】 今年度より合宿制は廃止しました。宿泊は各自で手配してください。

【申込締切】 平成26年11月30日

【応募方法】 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部放射線部会ホームページより  
<http://www.jsdcs-kanto-x.org/>

以上

# News

## 11月号

### 前回連絡会議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

### 理事会定数確認

出席：19名、欠席：1名

### 会長報告

8月は理事会がありませんでしたので、約2カ月ぶりの理事会に、お集まりいただきありがとうございます。医療界に夏休みという状況はありませんが、世間一般的な夏休みシーズンが概ね終わり、これから技師会も秋のいろいろな学会、あるいは本会のいろいろな事業も秋のシーズンとなつて、大変忙しい時期を迎えます。皆さまのご協力のもと、会を運営してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

### 報告事項

#### 1) 会長

7月5日から8月に理事会がありませんでしたので、7月・8月の2カ月分の報告事項となります。ここにある資料の通りです。少し前になりますが、資料にある7月18日の第75回日本診療放射線技師会の臨時総会ですが、皆さまに日本診療放射線技師会会誌などでお知らせしている通り、議題は環境省の委託事業に関するもののみでした。3億数千万円で落札しましたが、一度に環境省から3億数千万円見込まれる訳ではないので、事業を進めるにあたって、一時的に日本診療放射線技師会から持ち出しなどが発生する可能性があります。補正予算案の確認はこの総会で承認されました。

活動報告書に追加なし。

#### 2) 副会長

活動報告書に追加なし。

日 時：平成25年9月4日(木)

午後6時45分～午後8時00分

場 所：公益社団法人東京診療放射線技師会 事務所

出席理事：篠原健一、葛西一隆、白木 尚、石田秀樹、  
関 真一、野口幸作、高野修彰、浅沼雅康、  
市川重司、高坂知靖、藤田賢一、平瀬繁雄、  
竹安直行、岡部博之、飯島利幸、安宅里美、  
千葉利昭、鈴木晋、工藤年男

出席理事：野田扇三郎

欠席理事：江田哲男

指名出席者：鈴木雄一、富丸佳一、鎌田修、崎浜秀幸、  
内山秀彦、原子満、矢野孝好、  
河内康志(総務委員)、雨宮広明(総務委員)

議 長：篠原健一(会長)

司 会：白木 尚(副会長)

議事録作成：雨宮広明

### 3) 専門部委員会報告

専門部報告資料の中に専門部理事会と専門部委員会の表記がありますが、現在、正式には専門部委員会となります。(資料訂正)

その他、活動報告書に追加なし。

### 4) 委員会等報告

活動報告書に追加なし。

### 5) 地区活動報告

・第2地区委員会7月18日(金)に開催日

その他、活動報告書に追加なし。

### 議 事

1) 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部放射線部会第47回学術集会の後援ならびに名義使用願いについて運営委員会に事前資料を配布し、各委員長に広く意見を求めた。

会長が補足説明し、意見、質問を求めたが特になかったので採決を諮った。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

### 2) 委員会委員追加承認について

運営委員会に事前資料を配布し、各委員長に広く意見を求めた。

白木副会長：事前に資料を配布していますが、災害対策委員会と第4地区で委員追加があります。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

### 3) 事業申請について

①第17回メディカルマネジメント研修会「診療放射線技師の未来と人材育成」

平成26年11月14日(金)、東京都診療放射線技師会研修センター大会議室開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

②第36回日暮里塾ワンコインセミナー「GRID最新事情」

平成26年9月30日（火）、東京都診療放射線技師会研修センター大会議室開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ③第37回日暮里塾ワンコインセミナー「画像を見る目を養う CT編」

平成26年10月3日（金）、東京都診療放射線技師会研修センター大会議室開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ④第38回日暮里塾ワンコインセミナー「画像を見る目を養う 関節編」

平成26年11月5日（水）、東京都診療放射線技師会研修センター大会議室開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ⑤第39回日暮里塾ワンコインセミナー・13地区研修会合同開催「画像を見る目を養う 腹痛編」

平成26年11月18日（火）、東京都診療放射線技師会研修センター大会議室開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ⑥第40回日暮里塾ワンコインセミナー「画像を見る目を養う 関節痛編」

平成26年12月2日（火）、東京都診療放射線技師会研修センター大会議室開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ⑦第41回日暮里塾ワンコインセミナー「入会促進セミナー」

平成26年12月9日（火）、東京都診療放射線技師会研修センター大会議室開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ⑧OTAふれあいフェスタ2014

平成26年11月2・3日（日・月）、平和島競艇場開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ⑨中央区健康福祉まつり2014

平成26年10月26日（日）、中央区保健所開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ⑩第3地区研修会 「救急時における撮影」

平成26年11月28日（金）、東京医科大学病院、研究教育棟4階（第2講堂）開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ⑪第5地区 地球環境保全活動 荒川河川敷清掃活動

平成26年10月13日（月）、下平井水辺の荒川河川敷清掃活動について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ⑫第6地区研修会 「日本初・循環器特化型イメージングセンサーの試み」

平成26年10月31日（金）、東京都診療放射線技師会研修

センター大会議室開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ⑬第1地区研修会「上部消化管撮影の基礎」3回シリーズ

平成26年10月30日（木）、東京通信病院、管理棟5階（小講堂）開催について審議した。

平成26年11月27日（木）、東京通信病院、管理棟5階（小講堂）開催について審議した。

平成27年 1月28日（水）、東京通信病院、管理棟5階（小講堂）開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ⑭平成26年度 第3回静脈注射（針刺しを除く）講習会

平成26年11月9日（日）、三鷹産業プラザ開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

- ⑮平成26年度 診療放射線技師基礎技術講習会（消化管）

平成26年11月30日（日）、三鷹産業プラザ開催について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認0名】

- 4) 7・8月の新入会等、会費免除申請の審議が行われた。

7月新入会29名、転入3名、転出1名、退会4名

8月新入会7名、転入2名、転出2名、退会2名

出産育児会員の会費免除申請1名

【承認：19名、保留：0名、否認0名】

## 2. 地区質問、意見に関する事項

### 1) 【第4地区】

・HPに掲載の定款に施行日が記載していないか記載するべきではないか？また、定款の変更点について明記してほしい。

白木副会長：早急に対応します。

・定款/規程/内規/の位置づけについてお教えて下さい。  
篠原会長：定款は国で言う憲法、規程は法律、内規は運用上のルールになります。また、定款の改正は総会、規程は理事会、内規は専門部委員会の承認が必要となります。  
・理事会の議事録を過去のものを含め、HPに掲載できないか？

篠原会長 会員以外の不特定多数の方に閲覧できる必要はないと判断していますので、HPに掲載は考えていません。また、過去の議事録についても、会誌の参照をお願いしたい。どうしても必要な時は総務にて過去の議事録を保管していますのでご確認ください。

・新入会員に対して、東京都診療放射線技師会としては所属地区やお知らせを出しているか？

篠原会長：現状は会誌を同封していますので、会誌にて確認をお願いしています。

白木副会長：新入会に関して理事会承認後にその名簿をも



とに地区委員長より、お知らせしていただくのはどうでしょうか？

竹安委員長：東京都診療放射線技師会として何らかのお知らせを会誌と一緒に出せないか？

浅沼編集委員長：会誌の発送は委託業務となっているので、新入会員に対して一緒にお知らせを発送するのは難しい状況です。

篠原会長：お知らせを会誌と一緒になくても東京都診療放射線技師会や地区委員会から出す方法を検討していきます。

## 2) 【第6地区】

・診療放射線技師法改正に関わるプロセスを説明し技師会の存在意義をアピールすることについての提案。診療放射線技師に向けて、今回の法改正のプロセスを説明することにより技師会の存在意義をアピールし、技師会への入会促進を促すことはできないか。方法論は模索する必要があるが、例えば解説ペーパーを作成し、会員に配布ならびに学校（学生）へ配布し、今回の法改正の経緯を説明する。非会員には、都内の医療施設：放射線科宛てに配布。多々の費用・労力は掛かると思いますが、技師会アピールにはとても良い時期だと思われる。結果的に新入会促進に繋がる可能性がある。解説とすれば、嫌味にもならないと思われます。

篠原会長：法改正の経緯については日本診療放射線技師会の冊子に掲載されましたので、情報の混乱を避けるためにも各都道府県の技師会からの説明は行わない考えです。日本診療放射線技師会からの情報を活用する方向でお願いします。

岡部委員長：非会員の方に、どの様に技師会アピールをするのが良いのでしょうか？

篠原会長：非会員の方々に個別にお知らせするのは難しいが、今回の法改正についての説明は、日本診療放射線技師会にHPに掲載してはどうかと提案していきます。

・就職・アルバイト情報をHP上での閲覧について。

→HP上に掲示板を作成し、会員番号でのアクセスで閲覧するカタチを構築することはできないのでしょうか？東放技会誌・日放技冊子ともに掲載されているのに、HPで行っていないのは、不思議に感じる（就職斡旋ではなく、掲示板としての考え方）。また、会員としての特典の1項目になります。

篠原会長：公益社団法人として就職情報をHP上に掲載することは、斡旋と見える可能性があるのが難しい。また、東京都診療放射線技師会の立場としてバイト情報を掲載するのは難しいです。

岡部委員長：会員番号でのアクセスによる閲覧することは可能でしょうか？

安宅情報委員長：他県で就職情報をHPに掲載している技師会はありません。また、就職情報を掲載するメリットより会員限定のHPを管理するデメリットの方が大きいと思われます。

岡部委員長：会員としての何か特典になることを今後も検討し提案していきます。

## 3) 【第12地区】

・人事については6月切り替えとなりましたが、会計は3月末でしょうか？委嘱状の書面にある平成26年度は、平成26年6月から平成27年5月なのでしょうか？平成27年の4月の行事は、平成26年度活動で会計はどうなるのでしょうか？

鈴木委員長：前回の理事会で任期については、総会をもって切り替えると説明がありました。委嘱状を地区委員に配ったところ、「平成26年6月から平成27年5月までが年度でしょうか」と質問があり、確認させていただきます。

篠原会長：定款に基づき理事の任期は総会から総会の選挙まで、会の会計年度は平成26年4月から平成27年3月までとなります。

鈴木委員長：委嘱状に書いてある平成26年度・平成27年度について補足をお願いします。

葛西副会長：総会から総会までです。

篠原会長：年一回の総会となり、任期については厳密に月で分けられなくなりました。会計年度については、4月から3月です。

鈴木委員長：地区委員も総会で区切るの5月でよろしいでしょうか？

篠原会長：厳密には各地区で職場の事情があるでしょうか、年度で4月からじゃないと申請できないとかあれば、それはその都合に合わせてある程度で良いと思います。東京都診療放射線技師会の理事に関しては定款に定めている役員ですので、定款の通り選挙のある総会から次の選挙の総会までとなります。地区委員長や地区委員については、事情に合わせていただいても良いと思っています。ただし、可能であれば地区理事の皆さんと合わせていただくのが一番良いと思います。厳密に合わせられない事情も出てくるかもしれないので、その辺は特に問題にはならないと思います。

鈴木委員長：いつまでやらなければいけないという質問でもでした。

野口庶務委員長：本年度が4月で変わったり、総会で変わったりと入り乱れたところがありました。任期の期間いつからいつまでというのは明確に明記ができなかったため、4月の最初に委員を出して下さいとして、委任状は平成26年・27年度というフリーな形にさせてもらっています。理事の方は定款通りとなります。



石田総務委員長：急に委員を変わることはないと思います。

地区で話し合って、4月の時点で次の方について相談して下さい。期間については総会から総会です。総会運営委員会の期間と選挙管理委員会の期間も同様ですので地区委員についても総会から総会の任期になります。

篠原会長：基本的に総会は6月の最後の方の週で開催予定ですが、いろいろな諸事象により5月に開催することもあります。5月に総会があれば、やはり選挙のある総会から総会という考え方になります。多少前後しますが総会の開催時期は、会計年度のはじまった3カ月以内の規定があります。後の月になることはありませんが、今後5月に開催する状況が発生すること考えられます。

#### 4) 【第16地区】

・東京都勤務外の技師がTARTに入会を希望した場合の対応はどのようになるのでしょうか？

①新入会、②他県から移転希望（自宅が都内でもしくは都外）について確認させていただきたいです。

工藤委員長：新定款の中で、入会規程の解釈と入会するための手順などを確認したいです。

篠原会長：現在、日本診療放射線技師会の規定は各地域の技師会に所属することとなっています。今回の東京都診療放射線技師会第65回定期総会で、第3章会員についての定款を東京都内に住居又は勤務する者から、診療放射線技師又は診療エックス線技師の資格を有する者に改正したため正会員として入会できるようになりました。

工藤委員長：確認です。正会員・賛助会員という概念はないということでしょうか？

篠原会長：いままでの定款では賛助会員になっていただくしかなかったのですが、公益社団法人の定款を申請した際に東京都の管轄法人のため、会員については「都内在勤又は在住する者」と東京都都庁の方から指導があり、以前の定款になりました。公益社団法人の前も同様でしたが、去年の担当者から「それは法人のみなさんが決めることで良いのではないのでしょうか」という指導があり、第65回定期総会で定款改正が行われ、青森の方でも千葉の方でも正会員として入会できるようになりました。

工藤委員長：第14・15・16地区は、今回の定款改正で入会促進について賛助会員であったこともあり、活発に行えない事情があったのですが、今後は活発に行えるということですね。

篠原会長：入会について原則は、ご本人の意志です。今までも都内在勤または在住以外の方で東京都診療放射線技師会へ入会したい声はありました。以前の定款では賛助会員として入会していただいております。また、逆の声もありました。東京に在住・在勤者ですが、埼玉県診療放射線技師会へ入会したいという方もいました。現在

では埼玉県診療放射線技師会定款の会員について、埼玉県に在住・在勤者という縛りがなければ入会できます。過去に埼玉県診療放射線技師会から東京都診療放射線技師会に「東京在住・在勤者ですが、埼玉県診療放射線技師会に入会したい方がいて、入会してもらっても大丈夫ですか」と問い合わせがありました。東京都診療放射線技師会からは「入会について、東京都診療放射線技師会へ入会しなければならない定款はないですから大丈夫です」とお答えしたこともあります。

工藤委員長：前は複雑だったのですが、統一化された経営ができるということですね。

篠原会長：そういう意味では、単純になって分かりやすくなったと思います。

岡部委員長：窓口が日本診療放射線技師会だと思いますが、自分が入会するときに何処に所属したいか伝えるということでしょうか。

篠原会長：現在、日本診療放射線技師会では日本診療放射線技師会のみや各都道府県のみ入会を受け入れていません。日本診療放射線技師会は「どこの都道府県に所属しますか」と聞いて入会の説明を行っています。

#### 連絡事項

##### 1) 篠原会長

- ・社会的責任という意味で、森理事にSR委員会を担当していただきましたが、今年は入会促進と社会的責任という意味を含めた活動を設置する計画です。委員会名は、決定しておりませんが特別委員会として順天堂大学病院の技師長に依頼する予定です。
- ・義捐金の活動があります。今年の自然災害に対して義捐できる範囲で融資をお願いします。われわれの範囲で有意義と思われる期間に義捐させていただこうと思います。

##### 2) 総務委員会

- ・中間監査の上半期の報告が10月20日（月）にあります。地区事業・地区委員会の報告を総務委員長に9月24日（水）までに報告してください。
- ・12月6日（土）、7日（日）に役員研修会があります。

##### 3) 編集委員会

- ・中間監査の上半期事業報告は来年の総会で報告するため、会誌に掲載致します。つきましては一般・非会員・会員の参加者を集計していただき報告をしてください。新卒新入会は会員・非会員の中に入れていただき、一般は診療放射線技師以外としてください。公益性を示すために重要な部分です。年度末には一年間分を集計できるようなフォーマットを後日に配信をさせていただきます。
- ・会誌掲載のための原稿は前々月末までに入稿をしてください。事業計画の承認が通っていない場合も同様の期限

で編集委員会へ送ってください。

#### 4) 情報委員会

- ・今回、委員長がかなり変わっているのでHPへの地区研修会・支部研修会の掲載について確認を致します。開催予定の前月の10日までに報告ください。詳しくはホームページの研修会・イベント情報の下の方に書いてあります。
- ・原稿については編集委員会への提出原稿でも問題ないので、編集委員会に送る際は情報委員会へも送ってください。

#### 5) 学術・教育委員会

- ・サマーセミナーの参加に協力をお願いします。
- ・合同学術講演会への参加に協力をお願いします。情報交換会への参加も部会と合同セミナーですのでお願いします。

#### 6) 定款諸規定等委員会

8月にメールで送らせていただきましたが、修正箇所かいくつか見られました。再度諸規定の改正案を作成しメールします。改正案に対して意見をいただいて理事会承

認となりますので、各地区で検討し返信をお願いします。

#### 7) 庶務委員会

名刺については詳細調べて連絡いたします。

#### 8) 城北支部委員会

9月12日（金）に城北支部研修会があります。参加・協力をお願いします。

#### 今後の予定

予定表（添付ファイル）の確認をお願いします。

今年度の役員研修会は12/6（土）・7（日）です。

ファイルは随時更新していますが、ブッキングや間違えなどがあれば石田総務委員長までご連絡ください。

以上

## イエローケーキ

### 人種の違い

“人種の違い”といっても、堅い話ではない。

10年ほど前、ブラジルに旅行をした。10日間の日程でサンパウロ～イグアス～リオデジャネイロ～アマゾンと見て回った。ずっと行きたかったアマゾンにやっと思行けるとワクワクしながらの旅だったが、イグアスの滝のスケールの大きさにもかなり衝撃を受けた。

さて、この旅行中にブラジルの名物料理シュラスコを食べる機会があった。剣のような大串に、でっかい焼肉のかたまりを刺し、それをウェイターがナイフでそいで皿に盛ってくれる。ウェイターは何人もいて、それぞれ違う部位の牛肉やフランクフルトより大きなソーセージなどを持って待機しており、皿の上の肉が減るとすぐまた足してくれる。広いレストラン内で、さまざまな国の人々がひたすら大量の肉を食べ続け、ウェイターもひたすら肉をそぎ続ける。

私たち日本人一行は、他の国の人々より食べる量が明らかに少なく、すぐに皿が肉の山になってしまう。しかもなかなか減らず、ウェイターもすごく暇そう。

私も普段では考えられないくらい頑張って食べた。味わう余裕などない。肉山の向こうにあるほかのおかずにも手が届かない。しかしさすがにもう限界で、“ストップ！”と言うと、今度はなぜか違う種類の肉を持ってきてくれる。

“おいしい？”にこにこしながらどんどん肉を皿に盛るウェイター。

“もうやめて！”涙目で訴える私たち。

人種の違いと言えばそれまでだが、帰り際お店の主人が“日本人はうちの子供たちより食べない”ってぼやいていたと、現地ガイドに聞いた。

いまでも時々、あの剣に刺さった焼肉のかたまりの群れを恐ろしくも懐かしく思い出す。

shak

# 平成26年度7月期 会員動向

(平成26年7月)

総会員数		正会員							賛助会員						
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編出・入		会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出	
25年度集計	2008	1822	105	16	11	60	-6	1	186	7	1	5	6	6	-1
H26.4	2010	1825		10	3	3	-1		185			1	1	1	
H26.5	2046	1861	38	2	1	3			185						
H26.6	2071	1886	23	3	1				185						
H26.7	2098	1913	29	3	1	4			185						

新卒新入＝★

7月度	新入会(29名)	壽美田 瑛子	東京医科歯科大学医学部附属病院	5 地区	
		瀬川 臨	東京通信病院	1 地区	★
		長谷川 哲朗	昭和大学病院	8 地区	
		大松 将彦	帝京大学 医療技術学部	9 地区	
		島田 亮	至誠会第二病院	11 地区	
		鳥村 真芳	順天堂大学医学部附属順天堂医院	5 地区	
		柳田 秀幸	東京新宿メディカルセンター	3 地区	
		大川 瞬	明理会中央総合病院	5 地区	★
		圓城寺 純至	公立昭和病院	12 地区	★
		團 麻那美	日本赤十字社医療センター	4 地区	
		島田 勇佑	東大和病院	12 地区	★
		鈴木 潤	柳原病院	6 地区	★
		甲斐 麻記子	東大和病院	12 地区	★
		久間 恵	昭和大学病院	8 地区	★
		佐藤 祐	板橋中央総合病院	9 地区	
		平井 隆寛	昭和大学病院	8 地区	
		時岡 弘行	東大和病院	12 地区	★
		中村 和磨	帝京大学ちば総合医療センター	14 地区	★
		桐原 駿	三井記念病院	1 地区	★
		穂坂 慶高	日本赤十字社医療センター	4 地区	
		山城 淳	岩井整形外科内科病院	7 地区	
		油原 俊之	東京女子医科大学東医療センター	6 地区	再
		大野 雅己	国立病院機構 水戸医療センター	14 地区	
		東 武史	原田病院	16 地区	★
		竹内 純	荻窪病院	10 地区	★
		村田 洋美	サン虎ノ門クリニック	9 地区	
		高木 隆一	高島平中央総合病院	9 地区	★
		塚田 亮太	東京慈恵会医科大学附属第三病院	13 地区	
		向井 雅裕	東大和病院	12 地区	★
	転入(3名)	東重 咲	賛育病院	7 地区	
		皆川 健	八重洲クリニック	2 地区	
		中島 翔平	森の里病院	15 地区	
	転出(1名)	田中 創	稲城市立病院 → 神奈川県へ	13 地区	
	退会(4名)	風川 かおり	シーメンス・ジャパン(株)	8 地区	
		木下 文夫	東京薬業健保組合健康開発センター	2 地区	
		星 幸雄	東京都老人医療センター	9 地区	
		大盛 信行	サン虎ノ門クリニック	9 地区	

# 平成26年度8月期 会員動向

(平成26年8月)

総会員数		正会員							賛助会員						
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・入		会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出	
25年度集計	2008	1822	105	16	11	60	-6	1	186	7	1	5	6	6	-1
H26.4	2010	1825		10	3	3	-1		185			1	1	1	
H26.5	2046	1861	38	2	1	3			185						
H26.6	2071	1886	23	3	1				185						
H26.7	2098	1913	29	3	1	4			185						
H26.8	2103	1919	7	2	2	1			184				1		

新卒新入＝★

8月度	新入会(7名)	三好 貴裕	高崎総合医療センター	16 地区	
		渡辺 絃子	野村病院	13 地区	
		奥山 湧斗	野村病院	13 地区	★
		上田 万珠代	愛育病院	4 地区	再
		志田 昂平	立正佼成会附属佼成病院	10 地区	
		福土 政広	首都大学東京	6 地区	
		古林 佑一		13 地区	
	転入(2名)	鶴田 恭央	東京医科大学病院	3 地区	
		蔵持 隼人	いずみ記念病院	6 地区	
	転出(2名)	鶴 真織	西横浜国際総合病院 → 神奈川県へ	15 地区	
		棚橋 陽介	昭和大学病院 → 富山県へ	8 地区	
	退会(2名)	井手 敏典		9 地区	
		大久保 誠		14 地区	賛



# Postscript

先日、遅めの夏休みをいただき、自然と触れあってきました。

そこは広大な国立公園なのですが（四国4県以上の大きさとか言っているような・・・）、人間が降り立つことができるのは限られたほんの数カ所。自家用車の乗り入れは禁止され、移動手段は乗り合いバスのみです。公園内にあるありとあらゆるもの、たとえば落ち葉1枚にしても持ち帰ることは許されない、本当にありのままの姿を残そうとしている公園でした。とったり、持ち帰っていいものは写真と自分の出したゴミだけ、残していいのは足跡だけ、というそんな公園です。野生動物たちがわんさかとおり、バスの本当に近いところにひょっこり顔を出してきます。そんな動物たちや手つかずの自然になぜだかわかりませんが、圧倒され、癒され、帰ってまいりました。

ただ、最近注目を浴びている蚊の存在がとてもやかかいでした。

（ムース）

第30回日本診療放射線技師学術大会（大分大会）参加の皆様、

お疲れ様でした。大会は大勢の会員のご協力により盛会に終了しました。ここ5年ほど学術大会の運営をお手伝いさせていただいておりますが、東京と愛知を除く地方での開催でも毎回2000人近くの参加があります。開催する各地方技師会の皆様の熱意に毎回感動を覚えます。

また、開催技師会のスタッフのみでの運営は難しく、毎回近隣技師会からの応援が有り、連携・交流がされています。この交流が技師会活性の基になる感じました。夜はあちらこちらで第二の交流会が開催されておりました。東京都の交流会には各地の技師さんが集まり、盛んに交流が行われておりました。ここから技師会がもっと活性化されることを願います。

〈すえぞう〉

## ■ 広告掲載社

コニカミノルタヘルスケア(株)  
シーメンス・ジャパン(株)  
(株)島津製作所  
東京電子専門学校  
東芝メディカルシステムズ(株)  
富士フイルムメディカル(株)  
(株)日立メディコ  
(株)森山X線用品

## 東京放射線 第61巻 第10号

平成26年10月25日 印刷（毎月1回1日発行）

平成26年11月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・休日・祭日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京 (03) 3806-7724

## 編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

中谷 麗

柴山豊喜

平田充弘

高橋克行